

今年度から



Web 出願
になります

令和

8

年度

大学入学者選抜に係る
大学入学共通テスト
受験案内

出願
期間

【出願内容の登録（Web 出願）】

令和 7 年 9 月 16 日（火）10:00

～ 10 月 3 日（金）17:00

【検定料等の支払い】

令和 7 年 9 月 16 日（火）10:00

～ 10 月 3 日（金）23:59

※ 出願内容の登録後、検定料等の支払いを行うことにより、
出願完了となります。

※ 出願期間後の出願は一切受け付けません。

試験
期日

令和 8 年

1 月 17 日（土）・18 日（日）

★ 受験に際し、病気・負傷や障害等のために、受験上の配慮を希望する場合は、出願手続とは別に、郵送での受験上の配慮の申請が必要です。



独立行政法人 大学入試センター

大学入学共通テストを受験するに当たり、必ずこの受験案内を精読し、出願手続や試験の制度について十分に理解した上で出願してください。

1 出願について

令和8年度大学入学共通テストから、Web出願（インターネット出願）となります。出願手続は、高等学校等に在学している者も含め、全ての志願者が個人でパソコンやスマートフォン等を利用して行います。

出願に当たっては、志願者が大学入学共通テストの出願サイト（以下、「共通テスト出願サイト」という。）でマイページを作成する必要があります。出願等に係る全ての手続（出願内容の登録や訂正、受験票の取得、成績の閲覧等）は、マイページで行います。

なお、検定料等の支払方法は、クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（ペイジー）の三つです。

2 出願手続（→p.31）

出願完了までの流れは以下のとおりです。



STEP1

事前準備

- ① インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等の電子端末の準備
- ② メールアドレスの準備
- ③ 検定料等支払方法の確認
- ④ 顔写真データの準備

STEP2

出願サイトにアクセス

【共通テスト出願サイト】 <https://examinee.dnc.ac.jp/examinee>



STEP3

マイページの作成

7月1日(火)10:00～10月3日(金)17:00

※ 出願期間前から作成することが可能です。

STEP4・5

出願（出願内容の登録及び検定料等の支払い）

【出願内容の登録期間】

9月16日(火)10:00～10月3日(金)17:00

【検定料等の支払期間】

9月16日(火)10:00～10月3日(金)23:59

出願内容の登録は、出願内容の登録期間内にマイページ上で行います。

なお、顔写真データ、受験教科、成績の閲覧の希望の有無等について出願時に登録する必要があります（→p.35）。

出願内容の登録後、検定料等の支払いを行わないと、出願は完了しません。

10月3日(金)23:59までに検定料が支払われなかった場合は、出願は受理されず、大学入学共通テストは受験できません。

3 出願内容の確認

【出願内容の確認・訂正期間（注1）】

10月10日(金) 10:00～10月17日(金)17:00

【検定料等の追加支払期間（注2）】

10月10日(金) 10:00～10月17日(金)23:59

(注1) 出願内容の登録期間中（9月16日(火)10:00～10月3日(金)17:00）も出願内容の確認・訂正が可能です。

(注2) 出願内容の訂正により、検定料等の追加支払いが発生した場合のみ。

出願内容は、出願内容の確認・訂正期間内に共通テスト出願サイトのマイページ上で確認してください。確認の結果、訂正が必要な場合は、期間内にマイページ上で訂正してください。氏名や住所、登録教科等の全ての出願内容(承認済みの「顔写真」は除く。)の訂正が可能です(→p.40)。

4 受験票の取得・印刷

大学入学共通テストの受験票は、12月10日(水)10:00から共通テスト出願サイトのマイページ上で志願者が各自で取得し、紙に印刷する必要があります。早めに取得・印刷し、内容を確認してください。また、試験当日は、印刷した受験票を必ず試験場に持参してください(→p.42)。

5 成績の閲覧

出願時に希望した志願者は、令和8年4月1日(水)10:00～4月30日(木)23:59（マイページの利用期間終了まで）の期間に、共通テスト出願サイトのマイページ上で成績を閲覧できます(→p.28)。

6 障害等のある方への受験上の配慮

大学入学共通テストの受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について配慮を希望する場合は、**受験上の配慮の申請が必要です** (→p.18)。

大学入試センターでは、大学入学共通テストの受験上の配慮に関する事前相談を随時受け付けています。受験上の配慮について疑問点（「どんな配慮をしてもらえるか?」、「申請するには何が必要か?」、「何からはじめればいいのか?」）等があれば、できるだけ早めに大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に問い合わせてください。

希望する配慮事項によっては、審査に時間がかかる場合もあるため、受験上の配慮については、令和7年7月1日(火)から申請を受け付けます。**申請方法は郵送のみ**で、申請する時期により審査結果を通知する時期が異なります (→p.20)。

この申請がなければ各試験場では受験上の配慮を行いませんので、申請し忘れないよう、十分注意してください。

目 次

A 試験概要

1	令和8年度大学入学共通テスト実施日程	5	ページ
2	出題教科・科目等	6	
3	試験期日・試験時間割	8	
4	受験教科の事前登録	9	
	受験教科等の登録＜Q&A＞	11	
5	リスニング	13	
6	障害等のある方への受験上の配慮	18	

B 出願

1	出願期間	21
2	出願資格	22
3	イヤホンが装着できない場合	27
4	成績の閲覧	28
5	検定料及び成績閲覧手数料	29
6	出願方法	31
7	インターネット環境を利用することができない場合	39

C 出願後

1	出願内容の確認・訂正方法	40
2	受験票	42
3	試験場の指定	45
4	出願後の不慮の事故等による受験上の配慮	47

D 試験

1	受験に当たっての主な注意事項	48
2	追試験及び再試験	52

E 志望大学への出願等に係る手続

1	成績請求情報の提供手続	53
2	国公立大学入学確認票	56
3	過年度の大学入学共通テストの成績を利用する選抜	57

F 試験実施後

1	正解・平均点等の発表	58
2	得点の調整	58
3	段階表示	59
4	試験成績の大学への提供内容	60

G その他

1	志望大学に確認すること	61
2	個人情報の取扱い	62

H 高等学校等一覧

1	高等学校，中等教育学校，特別支援学校，高等専門学校	63
2	その他の出願資格	80

A
試験概要

B
出願

C
出願後

D
試験

E
志望大学への
出願等に係る手続

F
試験実施後

G
その他

H
高等学校等
一覧



試験概要

1 令和8年度大学入学共通テスト実施日程

〔志願者〕

〔大学入試センター〕

[共通テスト出願サイト](#) マイページ作成

7月1日(火) 10:00～10月3日(金) 17:00

出願

出願内容の登録

9月16日(火) 10:00～10月3日(金) 17:00

検定料等の支払い

9月16日(火) 10:00～10月3日(金) 23:59

出願内容の確認

(必要に応じて訂正)

10月10日(金) 10:00～10月17日(金) 17:00

受験票の取得・印刷

12月10日(水) 10:00～

受験上の配慮の申請(希望者のみ)【郵送】

7月1日(火)～10月3日(金) 必着

(又は10月1日(水)(消印有効))

出願受付

大学入学共通テスト(本試験)

令和8年1月17日(土)・18日(日)

正解等の発表 1月17日(土)・18日(日)

平均点等の中間発表 1月21日(水)予定

得点調整実施の有無の発表

段階表示換算表の発表

1月23日(金)予定

追試験

令和8年1月24日(土)・25日(日)

正解等の発表 1月24日(土)・25日(日)

平均点等の最終発表 2月5日(木)予定

成績の閲覧(出願時に希望した者のみ)

4月1日(水) 10:00～4月30日(木) 23:59

共通テスト出願サイト マイページ利用期間終了

令和8年4月30日(木) 23:59

2 出題教科・科目等

教科	グループ	出題科目	出題方法 (出題範囲, 出題科目選択の方法等) 出題範囲について特記がない場合, 出題科目名に含まれる学習指導要領の科目の内容を総合した出題範囲とする。	試験時間 (配点)
国語		『国語』	「現代の国語」及び「言語文化」を出題範囲とし, 近代以降の文章及び古典 (古文, 漢文) を出題する。	90 分 (200 点) (注 1)
地理歴史		『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』	- 左記出題科目の 6 科目のうちから最大 2 科目を選択し, 解答する。 (a) の『地理総合／歴史総合／公共』は, 「地理総合」「歴史総合」「公共」の三つを出題範囲とし, そのうち二つを選択解答する (配点は各 50 点)。 2 科目を選択する場合, 以下の組合せを選択することはできない。	1 科目選択 60 分 (100 点) 2 科目選択 130 分 (注 3) (うち解答時間 120 分) (200 点)
公民		『地理総合／歴史総合／公共』 → (a) (a): 必修科目を組み合わせ た出題科目 (b): 必修科目と選択科目を 組み合わせた出題科目	(b) のうちから 2 科目を選択する場合 『公共, 倫理』と『公共, 政治・経済』の組合せを選択することはできない。 (b) のうちから 1 科目及び (a) を選択する場合 (b) については, (a) で選択解答するものと同一名称を含む科目を選択することはできない (注 2)。 - 受験する科目数は出願時に申し出ること。	
数学	①	『数学Ⅰ, 数学 A』 『数学Ⅰ』	- 左記出題科目の 2 科目のうちから 1 科目を選択し, 解答する。 「数学 A」については, 図形の性質, 場合の数と確率の 2 項目に対応した出題とし, 全てを解答する。	70 分 (100 点)
	②	『数学Ⅱ, 数学 B, 数学 C』	「数学 B」及び「数学 C」については, 数列 (数学 B), 統計的な推測 (数学 B), ベクトル (数学 C) 及び平面上の曲線と複素数平面 (数学 C) の 4 項目に対応した出題とし, 4 項目のうち 3 項目の内容の問題を選択解答する。	70 分 (100 点)
理科		『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	- 左記出題科目の 5 科目のうちから最大 2 科目を選択し, 解答する。 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は, 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つを出題範囲とし, そのうち二つを選択解答する (配点は各 50 点)。 - 受験する科目数は出願時に申し出ること。	1 科目選択 60 分 (100 点) 2 科目選択 130 分 (注 3) (うち解答時間 120 分) (200 点)
外国語		『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	- 左記出題科目の 5 科目のうちから 1 科目を選択し, 解答する。 『英語』は「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」を出題範囲とし, 【リーディング】及び【リスニング】を出題する。受験者は, 原則としてその両方を受験する。その他の科目については, 『英語』に準じる出題範囲とし, 【筆記】を出題する。 - 科目選択に当たり, 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』の問題冊子の配付を希望する場合は, 出願時に申し出ること。	『英語』 【リーディング】 80 分 (100 点) 【リスニング】 60 分 (注 4) (うち解答時間 30 分) (100 点) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】 80 分 (200 点)
情報		『情報Ⅰ』		60 分 (100 点)

(備考) 『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し, 「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表します。

また, 『地理総合／歴史総合／公共』や『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』にある“／”は, 一つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表します。

(注 1) 『国語』の分野別の大問数及び配点は, 近代以降の文章が 3 問 110 点, 古典が 2 問 90 点 (古文・漢文各 45 点) とします。

- (注2) 地理歴史及び公民で2科目を選択する受験者が、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合において、選択可能な組合せは以下のとおりです。
- ・(b)のうちから『地理総合、地理探究』を選択する場合、(a)では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
 - ・(b)のうちから『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「公共」の組合せ
 - ・(b)のうちから『公共、倫理』又は『公共、政治・経済』を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

[参考]地理歴史及び公民において、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合に選択可能な組合せについて
○：選択可能 ×：選択不可

		(a)		
		「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
(b)	『地理総合、地理探究』	×	×	○
	『歴史総合、日本史探究』	×	○	×
	『歴史総合、世界史探究』	×	○	×
	『公共、倫理』	○	×	×
	『公共、政治・経済』	○	×	×

- (注3) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行います。第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とします。
- (注4) 【リスニング】は、音声問題を用い30分間で解答を行います。解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とします。
- なお、『英語』以外の外国語を受験した場合、【リスニング】を受験することはできません。

3 試験期日・試験時間割

試験期日	出題教科	出題科目	試験時間 (注 1, 2)
令和 8 年 1 月 17 日(土)	地理歴史 公 民	『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』(注 3)	2 科目受験 9:30～11:40 (注 4) 1 科目受験 10:40～11:40 (注 4)
	国 語	『国語』	13:00～14:30
	外 国 語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』 【リーディング】 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 【筆記】 15:20～16:40 ----- 『英語』 【リスニング】 17:20～18:20
1 月 18 日(日)	理 科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』(注 3) 『物理』『化学』『生物』『地学』	2 科目受験 9:30～11:40 (注 4) 1 科目受験 10:40～11:40 (注 4)
	数 学 ①	『数学 I, 数学 A』『数学 I』	13:00～14:10
	数 学 ②	『数学 II, 数学 B, 数学 C』	15:00～16:10
	情 報	『情報 I』	17:00～18:00

(注 1) 試験室への入室終了時刻については、12 月上旬に[大学入試センターのウェブサイト](#) (→裏表紙)に掲載する「受験上の注意」に明示します。

(注 2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻 (17:20) までに入室していない場合は受験することができません。

(注 3) 『地理総合／歴史総合／公共』及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、試験時間 60 分で必ず二つの出題範囲を選択解答してください。解答する順序、時間配分は自由です。

(注 4) 「地理歴史、公民」及び「理科」については、登録した科目数 (1 科目又は 2 科目) によって試験開始時刻が異なります。「2 科目受験する」と登録した場合は、試験当日に 1 科目のみを受験する (1 科目だけ受験を取りやめる) ことはできません。このため、遅刻者の試験室への入室限度 (9:50) までに入室していないと、後半の第 2 解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。また、第 1 解答科目のみ受験し、途中退室することもできません。なお、第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間は、トイレ等で一時退室することはできません。

4 受験教科の事前登録

志望大学の利用教科・科目の確認

大学入学共通テストを利用する各大学は、入学志願者が大学入学共通テストにおいて解答すべき教科・科目や、その成績の入学選抜における取扱いなどをそれぞれ定めています。

志望大学の募集要項等をよく確認の上、大学入学共通テストの出願及び受験をしてください。

(1) 受験教科及び科目数等の登録

大学入学共通テストの受験教科等については、あらかじめ、以下の事項を出願時に登録する必要があります。

- ① 受験教科
- ② 地理歴史、公民の受験科目数
- ③ 理科の受験科目数
- ④ 「外国語」の別冊子試験問題の配付希望

これらの登録を正しく行わないと、希望する教科・科目を受験することができませんので、下記(2)に示す注意事項をよく理解した上で、正しく登録してください。

登録した内容の確認・訂正については、10月10日(金)10:00～10月17日(金)17:00の出願内容の確認・訂正期間内に、[共通テスト出願サイト](#)のマイページ上で行ってください(→p.40)。

出願内容の確認・訂正期間終了後は、受験教科及び科目数等を訂正することができません。

(2) 受験教科及び科目数等の登録に当たっての主な注意事項

以下の注意事項は、出願に当たって特に注意が必要な事項ですので、よく理解した上で、受験教科及び科目数等を登録(→p.36)してください。

① 受験教科

ア 大学入学共通テストの出題教科は、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の7教科です。試験当日は、登録していない教科は受験できません。万一、登録していない教科を受験してもその教科は採点されません。

イ 地理歴史及び公民については、同一の試験時間に実施しますので、出願時には、この2教科を「地理歴史、公民」の1教科として登録します。

ウ 数学については、試験時間を「数学①」と「数学②」のグループに分けて実施します。数学を受験教科として登録した場合は、「数学①」及び「数学②」の両方又はいずれか一方のみ受験することが可能です。

② 地理歴史、公民の受験科目数

地理歴史、公民を受験する場合は、受験する科目数(1科目又は2科目)を登録します。

試験当日は、登録した受験科目数に従って、地理歴史と公民を合わせた6科目の中から選択し、解答することができます。

※ 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」の三つの出題範囲の中から二つを選択解答しますが、科目数としては1科目です。

※ 登録した受験科目数を試験当日に変更することはできません。

③ 理科の受験科目数

理科を受験する場合は、受験する科目数（1科目又は2科目）を登録します。

試験当日は、登録した受験科目数に従って、5科目の中から選択し、解答することができます。

※ 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つの出題範囲の中から二つを選択解答しますが、科目数としては1科目です。

※ 登録した受験科目数を試験当日に変更することはできません。

④ 「外国語」の別冊子試験問題の配付を希望する場合

ア 「外国語」の『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』を受験する場合は、出願時に、別冊子試験問題の配付希望を登録する必要があります。

イ 別冊子試験問題の配付を希望した場合でも、「外国語〔『英語（リーディング）』〕」の問題冊子も併せて配付されますので、『英語（リーディング）』を選択解答することもできます。

受験教科等の登録 <Q & A>

Q1 出願時に「地理歴史、公民」を「受験しない」として登録しましたが、「1科目受験する」に訂正することはできますか？

A 出願内容の確認・訂正期間（10月10日（金）10：00～10月17日（金）17：00）内であれば、[共通テスト出願サイト](#)のマイページ上で、受験教科等の登録内容を訂正することができます（→p.40）。

なお、この期間経過後は、登録教科の訂正は一切できませんので注意してください。

Q2 試験当日に、受験教科として登録されていない教科を受験することができますか？

A できません。

万一、試験当日に登録していない教科を受験しても、その教科は採点されません。

Q3 「受験する」として登録されている教科の受験を、試験当日になって取りやめることはできますか？

A 試験時間単位で受験を取りやめることができます。

受験を取りやめた場合、その試験時間の科目は受験しなかったものとして扱います。0点として採点されることはありません。

Q4 数学を「受験する」として登録されている場合、「数学①」と「数学②」のどちらか片方だけ受験することもできますか？

A できます。

受験しない試験時間の科目は受験しなかったものとして扱います。0点として採点されることはありません。

Q5 『地理総合／歴史総合／公共』及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において、一つの出題範囲のみ選択解答することはできますか？

A できません。

『地理総合／歴史総合／公共』及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は、試験時間60分で必ず二つの出題範囲を選択解答してください。

なお、解答する順序、時間配分は自由です。

Q6 「理科」において「化学基礎」と「生物基礎」のみを受験する場合、「1科目受験する」と登録したらよいですか？

A そのとおりです。

『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つの出題範囲の中から二つを選択解答しますが、科目数としては1科目です。

Q7 「地理歴史、公民」を「2科目受験する」として登録しましたが、試験当日に1科目のみを受験することはできますか？

A 「地理歴史、公民」を「2科目受験する」と登録した場合、2科目分の解答時間を合わせて一つの試験時間としているので、試験当日に1科目のみを受験する（1科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。「2科目受験する」と登録した場合、必ず2科目分を採点（前半の60分を第1解答科目、後半の60分を第2解答科目として採点）します。

同様に、「1科目受験する」と登録した場合、試験当日に2科目を受験することもできません（「理科」についても同様です。）。

Q8 「地理歴史、公民」から2科目受験する場合、選択不可な組合せはありますか？

A 2科目受験する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』を組み合わせることはできません。

また、『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合、選択解答するものと同一名称を含む出題科目を選択することができません（→p.6）。（例えば、第1解答科目で『地理総合／歴史総合／公共』を選択し、「地理総合」及び「公共」を選択解答した場合、第2解答科目で『地理総合、地理探究』、『公共、倫理』及び『公共、政治・経済』を選択解答することはできません。）

(解答順は順不同)		(b)必履修科目と選択科目を組み合わせた出題科目					(a)必履修科目を組み合わせた出題科目		
		『地理総合、 地理探究』	『歴史総合、 日本史探究』	『歴史総合、 世界史探究』	『公共、倫理』	『公共、 政治・経済』	『地理総合／歴史総合／公共』 (三つのうち二つを解答)		
							「地理総合」 と 「歴史総合」	「地理総合」 と 「公共」	「歴史総合」 と 「公共」
(b)	『地理総合、 地理探究』		○	○	○	○	×	×	○
	『歴史総合、 日本史探究』	○		○	○	○	×	○	×
	『歴史総合、 世界史探究』	○	○		○	○	×	○	×
	『公共、倫理』	○	○	○		×	○	×	×
	『公共、 政治・経済』	○	○	○	×		○	×	×

○は選択可能な組合せ、×は選択不可な組合せ

※ (b)の5科目のうちから1科目及び(a)の計2科目を受験する場合は、『地理総合／歴史総合／公共』の中で選択解答するものと同じ名称を含む科目は選択できません。

※ (b)の5科目のうちから計2科目を受験する場合は、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せは選択できません。

Q9 「理科」から2科目受験する場合、選択不可な組合せはありますか？

A 「理科」については、選択不可な組合せはありません。

ただし、大学によっては科目選択の組合せに制限をしている場合もありますので、志望大学の募集要項等で、大学入学共通テストの「理科」の取扱いをよく確認してください。

なお、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は1科目なので、2科目受験する際、2科目とも『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択し、出題範囲を変えて解答することはできません。（例えば、第1解答科目で「物理基礎」と「化学基礎」、第2解答科目で「生物基礎」と「地学基礎」を解答することはできません。）

Q10 高等学校では履修していない科目を選択し、解答することはできますか？

A できます。

大学入学共通テストでは、高等学校での履修の有無により受験科目を制限することはありません。ただし、大学によっては、認めていない場合もありますので、志望大学の募集要項等で、大学入学共通テストの科目選択の取扱いをよく確認してから受験してください。

5 リスニング

(1) リスニングの概要

① リスニングを実施する教科・科目

リスニングは外国語『英語』の一領域として実施します。外国語において『英語』を選択する受験者は、原則として、リーディングとリスニングの両方を受験してください。

なお、『英語』以外の外国語を受験した場合、リスニングを受験することはできません(→p.7)。

② 試験時間・解答時間

リスニングは、試験場で配付される IC プレーヤーとイヤホンを使用し、受験者が個々に音声を聞き取りながら解答する試験です。音声は、左右とも同一の音声モノラルで流れます。

また、試験時間 60 分の中で、解答開始前に IC プレーヤーの操作準備・作動確認・音量調節を受験者本人が行った後、30 分間で解答します(→p.14)。

なお、リーディングとリスニングの間には、休憩時間が設けられています。

③ 聞き取る英語音声の流れる回数

聞き取る英語の音声を 2 回流す問題と、1 回流す問題があります。流す回数は下表のとおりです。

問題	第 1 問	第 2 問	第 3 問	第 4 問	第 5 問	第 6 問
流す回数	2 回	2 回	1 回	1 回	1 回	1 回

④ リスニングにおける受験上の配慮

病気・負傷や障害等のために、リスニングにおいて配慮を希望する者は、受験上の配慮を申請してください(→p.18)。

⑤ イヤホン不適合措置

リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため、ヘッドホンの貸与を希望する場合は、出願時に「イヤホン不適合措置」を申請してください(→p.27)。上記④のリスニングにおける受験上の配慮とは申請方法が異なりますので注意してください。

なお、試験当日にイヤホンが耳に装着できないと申し出ても、対応できません。

(2) リスニング受験上の注意

① リスニングでは、遅刻者の試験室への入室限度が他の試験時間と異なります。**試験開始時刻(17:20)までに入室していない場合は受験することができないので**十分注意してください。

② リスニングでは、他の受験者の聞き取りに支障を来す不必要な音をたてることがないように注意してください。

③ IC プレーヤーのボタンを長く押し続けてもランプが光らなかったり、音声流れなかったりした場合、音声途中で停止するなど聞き取れなくなった場合、問題冊子の乱丁、落丁や印刷不鮮明で解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。

なお、試験が終わってからこれらを申し出ても、救済措置(再開テスト)はありません(→p.17)。

④ 解答時間中の質問は、一切受け付けません。

(3) リスニングの進行

① リスニングの進行の概要

英語(リーディング)試験

16:40 英語(リーディング)試験終了

この休憩時間中に

- 携帯電話やスマートフォン、時計など音の出る機器のアラーム設定を解除し、機器の電源を切る。

17:15 受験者入室終了

17:20 試験開始 (*この時刻までに必ず入室)

- 問題冊子、解答用紙配付
- 解答用紙に、受験番号・氏名・試験場コードを記入・マークする。
- IC プレーヤー、イヤホン、音声メモリー配付
- 監督者の指示に従い、IC プレーヤーの操作準備を行う。

確認はじめ
(監督者指示)

確認音声
(約 2 分間)



- 確認音声(試験問題ではない)を聞いて、IC プレーヤーが正常に動くことを確認し、音量を調節します。

解答はじめ
(監督者指示)

問題音声
(約 30 分間)



- 再生ボタンを押した後は、試験終了まで自動的に音声が流れるので、問題音声の進行に従って、問題を解答します。
この試験では、聞き取る英語の音声を2回流す問題と、1回流す問題があります。また、問題音声には、問題文を読むため、または解答をするために音声が流れない時間があります。
- 解答は、必ず設問ごとに解答用紙にマークします。問題冊子に記入しておいて、解答時間の途中や最後にまとめて解答用紙にマークしてはいけません。

解答やめ
(監督者指示)

18:20 試験終了

- 答案回収
- IC プレーヤー・イヤホン・音声メモリー回収

受験者退室

【IC プレーヤーの操作】

1 監督者の指示後、解答用紙裏面のイラスト(→p.15)に従い、「電源ボタン」を「電源ランプ」が緑に光るまで長く押し続ける。

2 監督者の指示後、解答用紙裏面のイラスト(→p.15)に従い、イヤホンを耳につけ、「確認ボタン」を、「作動中ランプ」が赤く光るまで長く押してから、音声を聞きながら音量つまみを回して音量を調節する。

音声中の指示でいったんイヤホンを耳から外す。

3 監督者の解答開始の指示後、解答用紙表面のイラスト(→p.15)に従い、イヤホンを耳につけ、「再生ボタン」を、「作動中ランプ」が赤く光って音声が聞こえるまで長く押し続ける。

* 音声に不具合等があれば、ためらわずに、黙って手を高く挙げる(→p.17)。

音声中の指示でイヤホンを耳から外す。

② 試験終了後の IC プレーヤー等の取扱い

IC プレーヤー、イヤホン及び音声メモリーは、試験終了後に回収します。これらを試験室から持ち出すと、不正行為となることがあります(→p.50)。ただし、問題冊子は持ち帰ってください。

なお、問題音声は、試験終了後に[大学入試センターのウェブサイト](#)(→裏表紙)で確認することができます。

③ IC プレーヤーの操作

ICプレーヤーの操作は、解答用紙裏面及び表面のイラストに従い行います。このうち、①～④の操作については、受験者本人が行います。⑤～⑦及び表面のイラストの操作については、それぞれ監督者の指示があるまで行わないでください。

【リスニング解答用紙裏面】

<IC プレーヤーの準備方法>

裏 面

①～④を各自で行ってください。分からないことがあったら、手を挙げて知らせてください。⑤～⑦は指示があるまで行わないでください。

① ICプレーヤーに差し込まれたイヤホンを、念のため、もう一度押し込み、奥までしっかりと差し込まれていることを確認した後、イヤホンの「コードどめ」をほどく。

○ (良い例) × (悪い例)

② ICプレーヤーを持ち、音声メモリーの「保護カバー」を上方向に開ける。

③ 音声メモリーを袋から取り出す。ICプレーヤー表面が見えるようにした状態で、矢印の面を表にして、奥に突き当たるまでしっかりと差し込む。

④ 「保護カバー」を閉じる。なお、閉じる際は、「保護カバー」の真ん中を押す。

「保護カバー」の真ん中を押す。

⑤ ICプレーヤー裏側の「絶縁シート」を引き抜き、ICプレーヤーが入っていた袋の中に入れる。
(注1) 引き抜く時に表面のボタンを押さないように注意すること。
(注2) 次の指示があるまで、⑥には進まないこと。

引き抜く

⑥ ①の「電源ボタン」を、「電源ランプ」が光るまで長く押し続ける。
(注) 次の指示があるまで、⑦には進まないこと。

⑦ ICプレーヤー右側の「スライドカバー」を下方向に移動させる。

イヤホンの左右を確認してから、耳に付け、②の「確認ボタン」を、「作動中ランプ」が光るまで長く押し続ける。「作動中ランプ」が光ったら音量つまみを回して、聞きやすい音量に調節する。

※左右を確認して装着する
コードは前

【リスニング解答用紙表面（抜粋）】

「解答はじめ」の指示があったら、次の手順で操作すること。

解答開始時の操作手順

- イヤホンの左右を確認しながら、耳に付ける。
- 「スライドカバー」を上方向に移動させる。

- ③の「再生ボタン」を「作動中ランプ」が光るまで長く押し続ける。

以後は、問題音声の進行に従って、解答しなさい。

【参考】 各部の名称



④ IC プレーヤーの操作の注意点

ア IC プレーヤーは各ボタンを単にひと押ししただけでは、作動しません。**1** 電源ボタンは電源ランプが緑に光るまで、**2** 確認ボタンと**3** 再生ボタンは作動中ランプが赤く光るまで、長く押し続けます。

イ **1** 電源ボタン、**2** 確認ボタン、**3** 再生ボタンの順番を守らない操作は受け付けません。
「確認ボタン」を押し、確認音声聴取した後でないと「再生ボタン」を押しても問題音声は流れません。

ウ 各ボタンを押した後に音声メモリーを引き抜くと、再び音声を再生することができません。
音声メモリーを差し込み、保護カバーを閉じた後は、保護カバーを開けないでください。

エ IC プレーヤーには「一時停止」，「早送り」，「巻き戻し」の機能はありません。

(4) IC プレーヤーの操作体験

[大学入試センターのウェブサイトの「英語リスニングについて」](#)にある「IC プレーヤー操作ガイド」では、IC プレーヤーの操作を体験することができます。IC プレーヤーの三つのボタンの長押しの方法、操作上の注意事項やリスニングの流れが分かるようになっています。

(5) 解答時間中の事故等と再開テスト

① 解答時間中の事故等への対応

ア IC プレーヤーのボタンを長く押し続けてもランプが光らなかったり、音声流れなかったりした場合、音声途中で停止するなど聞き取れなくなった場合、問題冊子の乱丁、落丁や印刷不鮮明で解答に支障がある場合は、ためらわずに黙って手を高く挙げて、監督者に知らせてください。

なお、試験が終わってからこれらを申し出ても、救済措置（再開テスト）はありません。

イ 解答時間中に挙手した場合の監督者との意思伝達については、周囲の受験者の解答の妨げにならないよう監督者から手渡される所定の用紙を使用して、筆談で行います。

ウ IC プレーヤーの不具合等を申し出た受験者については、申出の内容や再開解答番号（試験が中断した時点で解答していた番号）について確認した上で、試験終了後に「再開テスト」を実施します。

エ 体調不良等により退室が必要となる受験者がいる場合は、監督者から周囲の受験者に対し、試験の中断を指示することがありますので、その際は、監督者の指示に従ってください。中断を指示された受験者は「再開テスト」を受験することができますので、試験終了まで静かに待機してください。

② 再開テスト

解答時間中に、解答が続行できないような IC プレーヤーの不具合や不慮の事故等があった場合には、監督者の指示で試験を中断することがあります。このような場合には、リスニングの試験終了後、別の IC プレーヤーを使って当初解答していたものと同じ試験問題により、中断した設問から試験を再開します（この試験を「再開テスト」といいます。）。

なお、解答時間中に日常的な生活騒音等（監督者の足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、イヤホンやヘッドホンからの音漏れ、周囲の建物のチャイム音など）が発生し、解答に支障があったと申し出ても、「再開テスト」の対象とはなりません。

6 障害等のある方への受験上の配慮

- (1) 大学入学共通テストの受験に際し、病気・負傷や障害等のために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について、(2)のような配慮を希望する志願者は、令和7年7月1日(火)～10月3日(金)必着（又は10月1日(水)消印有効）までに出願手続とは別に郵送で申請してください。志願者からの申請に基づき、大学入試センターで審査の上、受験上の配慮事項を決定します。決定に当たっては、個々の症状や状態等を総合的に判断します。

この申請がなければ、各試験場では受験上の配慮を行いません。日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等の使用を希望する場合も、受験上の配慮の申請が必要となりますので、申請し忘れないよう十分に注意してください。

なお、(3)に示すものは、受験上の配慮の申請は不要です。

受験上の配慮の対象となる者や配慮の具体的な内容、申請方法等は「**受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕**」に掲載しています。入手方法については、(5)を参照してください。

(2) 区分別受験上の配慮事項の例

各区分の代表的な配慮事項の例は下表のとおりです。申請の際は必ず「**受験上の配慮案内**」を参照し、必要な配慮事項を申請してください。

区 分	対 象 と な る 者	配 慮 事 項 (例)
① 視覚障害	- 点字による教育を受けている者 - 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 - 視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 - 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	- 点字解答（点字問題冊子の配付） - 文字解答 - 試験時間の延長 - 拡大文字問題冊子（14ポイント・22ポイント）の配付 - 拡大鏡等の持参使用 - 窓側の明るい座席を指定 - 照明器具の持参使用又は試験場側での準備
② 聴覚障害	- 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 - 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	- 手話通訳士等の配置 - 注意事項等の文書による伝達 - 座席を前列に指定 - 補聴器又は人工内耳の装用 - リスニングの免除 - リスニングにおける音声聴取の方法を変更
③ 肢体不自由	- 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 - 両上肢の機能障害が著しい者 - 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	- チェック解答 ・ 代筆解答 ・ 試験時間の延長 - 試験室入口までの付添者の同伴 - 介助者の配置 1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 - トイレに近い試験室での受験 - 車椅子、杖、特製机・椅子の持参使用又は試験場側での準備 - 試験場への乗用車での入構
④ 病弱	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定 - 別室の設定
⑤ 発達障害	学習障害、注意欠如・多動症（注意欠陥多動性障害）、自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害等）等のため配慮を必要とする者	- 試験時間の延長（マークシート解答） - チェック解答 - 拡大文字問題冊子（14ポイント・22ポイント）の配付 - 注意事項等の文書による伝達 ・ 別室の設定
⑥ その他	①～⑤の区分以外で配慮を必要とする者	- トイレに近い試験室での受験 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定 - 別室の設定

(3) 受験上の配慮を申請せずに使用できるもの

次のものは受験上の配慮を申請せずに使用できます。

- ① サポーター，テーピング，包帯，湿布，ギプス，眼帯，コルセット
※ 試験時間中に着脱する場合は，監督者に申し出て許可を得てください。
- ② 白杖
※ 白杖以外の杖の持参使用を希望する場合は申請が必要です。

以下の③については，試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

- ③ 座布団，クッション，タオル，ひざ掛け，手袋（多汗症用を含む。）
※ 病気・負傷や障害等のために試験開始前に監督者に申し出ることが困難な場合は，受験上の配慮の申請をすることもできます。
※ 英文字や地図等がプリントされているものは使用しないでください。

(4) 受験上の配慮に関する事前相談

大学入試センターでは，大学入学共通テストの受験上の配慮に関する事前相談を随時受け付けています。

〈問合せ先〉

独立行政法人大学入試センター事業第1課

TEL 03-3465-8600

(9:30~17:00 土・日曜，祝日，12月29日~1月3日を除く)

FAX 03-3485-1771

(電話での問合せが難しい障害等のある方専用 F A X)

(5) 「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」の入手方法

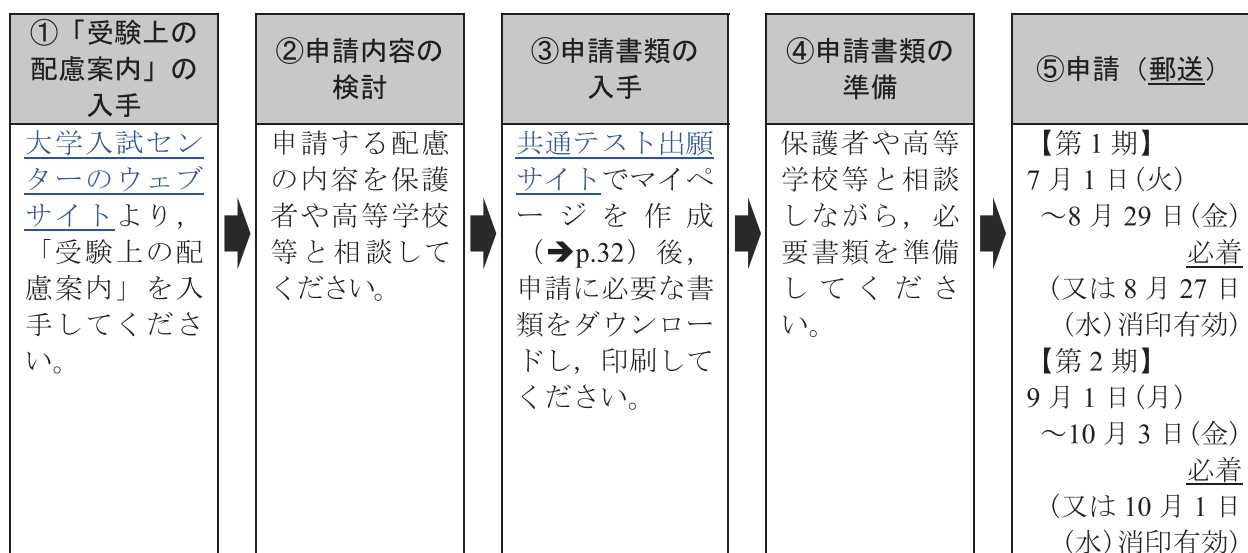
受験上の配慮を希望する志願者は，できるだけ早い時期に「受験上の配慮案内」を[大学入試センターのウェブサイト](https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r8/r8_hairyo.html)（→下記 URL）から入手してください（大学等では配付していません。）。

なお，申請に必要な申請書等の様式のダウンロードには，マイページの作成（→p.32）が必要です。詳細は「受験上の配慮案内」を確認してください。

「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」掲載ページ
https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r8/r8_hairyo.html



【受験上の配慮の申請の流れ（例）】



(6) 申請期間

希望する配慮事項によっては審査に時間がかかる場合もあるため、受験上の配慮については、出願期間前から申請を受け付けます。できるだけ早めに申請してください。

受験上の配慮を申請する期間により、審査結果を通知する時期が異なります。9月22日(月)までに審査結果の通知を希望する場合は、第1期（7月1日(火)～8月29日(金)**必着**（又は8月27日(水)消印有効））に申請してください。

申請区分	申請期間	審査結果通知
第1期 （出願期間内に審査結果の通知を希望する場合）	令和7年7月1日(火)～8月29日(金) 必着 （又は8月27日(水)消印有効）	9月22日(月)までに送付
第2期	令和7年9月1日(月)～10月3日(金) 必着 （又は10月1日(水)消印有効）	11月下旬に送付（出願した場合のみ）

なお、受験上の配慮を申請しただけでは大学入学共通テストに出願したことにはなりません。出願する場合には、この手続のほかに、必ず出願期間内（9月16日(火)～10月3日(金)）に出願手続（→p.31）を行ってください。

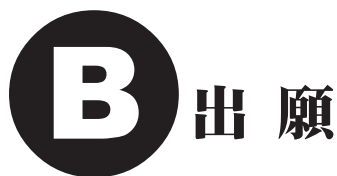
(7) 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮の申請

出願時までに申請する受験上の配慮のほか、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病、症状の悪化等）のための受験上の配慮の申請があります（→p.47）。

この申請は、申請する理由が出願後に発生した場合に限り行うことができるものです。したがって、出願時までに申請すべき内容であった場合には対象となりません。

(8) 志望大学との事前相談

障害等の種類と程度によっては、各大学が実施する教科・科目に係る個別テスト等や修学上（入学後の大学生活等）の配慮が必要となることがありますので、別途、志望大学が定めている期日までに相談してください。



1 出願期間

(1) 出願期間

【出願内容の登録（Web出願）】

令和7年9月16日（火）10：00 ～ 10月3日（金）17：00

【検定料等の支払い】

令和7年9月16日（火）10：00 ～ 10月3日（金）23：59

※ 出願内容の登録後、検定料の支払いを行わないと、出願は完了しません。

※ 出願期間後の出願は、一切受け付けません。

(2) 出願の流れ

出願完了までの流れは以下のとおりです。詳細は「**6 出願方法**」（→p.31）を参照してください。



大学入試センターが出願を受理したら、メール及び[共通テスト出願サイト](#)のマイページの「お知らせ」で通知します。

なお、出願完了後は、大学入学共通テストを受験しなくても支払済の検定料等は返還しません（→p.29）。

2 出願資格

令和8年度大学入学共通テストに出願できる者は、大学入学共通テスト利用大学へ入学を志願し、下表のいずれかの出願資格に該当する者です。

- * 大学入学共通テストの出願に当たって、出願資格を証明する書類の提出は必要ありません。
- * 故意に虚偽の出願資格を登録した場合は、不正行為となります（→p.36）。
- * 志望大学への出願資格の有無について確認したい場合は、志望大学に問い合わせてください。また、大学入学資格については、[文部科学省のウェブサイト](#)を確認してください。

出
B
願

出 願 資 格		
(1)	「高等学校」（特別支援学校の高等部を含む。）又は「中等教育学校」を令和8年3月に卒業見込みの者	
(2)	「高等学校」（特別支援学校の高等部を含む。）又は「中等教育学校」を卒業した者	
(3)	「高等専門学校」第3学年を修了した者又は令和8年3月に修了見込みの者	
(4)	外国の学校等	外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は令和8年3月31日までに修了見込みの者（注1-1）
		上欄に準ずる者（注1-2～1-5）
(5)	在外教育施設（注2）	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和8年3月31日までに修了見込みの者
(6)	専修学校の高等課程を卒業（修了）した者又は卒業見込み（修了見込み）の者（注3）	
(7)	文部科学大臣の指定した者 * 昭和23年文部省告示	海技教育機構（旧海員学校）の本科を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
		国際バカロレア資格取得者（注4） アビトゥア資格取得者（注5） バカロレア資格（フランス共和国）取得者（注6） GCEA レベル資格取得者（注7） 国際A レベル資格取得者（注8） 欧州バカロレア資格取得者（注9） * 上記のほか、今後追加されることがあります。
		国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は修了見込みの者（注10）
		その他文部科学大臣の指定した者（旧制諸学校出身者等）（注11）
(8)	高等学校卒業程度認定試験等 （問合せ等（注12）） * 令和8年3月31日までに18歳に達する者	高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者
		高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者 * 科目合格者のうち、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を、高等学校等で令和8年3月31日までに修得見込みの者（注13）
		令和7年度第2回高等学校卒業程度認定試験に出願している者
(9)	高等学校卒業程度認定審査（問合せ等（注14）） * 令和8年3月31日までに18歳に達する者	いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者）であって、高等学校卒業程度認定審査に合格したもの
(10)	いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者）であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの	
(11)	大学において、個別の入学資格審査による認定を受けた者（注15-1～15-3）	

(注 1-1) 外国にある学校（インターナショナルスクール等）の課程を修了した者は、我が国における大学入学資格が認められない場合がありますので、志望大学への出願資格の有無について確認したい場合は、志望大学に問い合わせてください。

(注 1-2) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、令和 8 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの（大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GED test」等がこれに該当します。）

(注 1-3) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は次表の上欄及び中欄に掲げる施設における研修並びに同表の下欄に掲げる施設における我が国の大学に入学するために必要な教科に係る教育をもって編成される当該課程を修了したものの

上欄	埼玉県、大阪府、福岡県の各中国帰国者定着促進センター
中欄	北海道、山形県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター
下欄	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター

(注 1-4) 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 11 年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定する次の教育課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

* 次の教育課程については、適用開始日以降に修了した者に限ります。

外国の学校の課程の名称	適用開始日
ウクライナのポウナ・ザハリナ・セレドニャ・オスヴィタの課程	平成 3 年 5 月 23 日
ウズベキスタン共和国のシコーラ・スレードゥネヴァ・オブラゾヴァーニヤの課程	平成 29 年 3 月 15 日
カザフスタン共和国のオブシェエ・スレドニェエ・オブラゾヴァーニエの課程	平成 19 年 7 月 27 日
スーダン共和国のアル・マドラサ・アッ・サーナウィーヤの課程	平成 4 年 1 月 1 日
ベラルーシ共和国のトレーチヤ・ストゥペニ・オープンシェヴォ・スレドネヴォ・オブラゾヴァーニヤの課程	平成 23 年 1 月 13 日
ペルー共和国のエスクエラ・セクンダリアの課程	明治 34 年 3 月 9 日
ミャンマー連邦共和国のアテッタン・アスィン・ピンニャーイェーの課程（旧ビルマ連邦社会主義共和国のアテッタン・アスィン・ピンニャーイェーの課程を含む。）	昭和 48 年 10 月 1 日
ロシア連邦のオブシェエ・スレドニェエ・オブラゾヴァーニエの課程	平成 21 年 10 月 6 日

* 以上の教育課程については、今後追加されることがあります。

(注 1-5) 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 12 年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた次の教育施設の当該課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

所在地	令和 7 年 3 月 26 日現在で確認されている教育施設の名称
埼玉県	エスコーラ・インテルクートゥラウ・ユニフィカーダ・アルコ・イリス、コロンビア・インターナショナルスクール
東京都	インドネシア学校東京、カナディアンインターナショナルスクール、東京韓国学校中・高等部（旧東京韓国学校）、東京国際フランス学園（旧リセ・フランコ・ジャポネ・ド・トウキョウ及び旧リセ・フランコ・ジャポネ・ド・東京柳北校）、東京中華学校
神奈川県	東京横浜独逸学園、横浜中華学院
岐阜県	コレージョ・イザキ・ニュートン
静岡県	エスコーラ・アウカンセ、エスコーラ・ノヴァ・エラ、セントロ・エドカショナル・イ・プロフィシオナリザンチー C E P ブラジル
愛知県	コレージョ・ブラジルー・ジャポネ・プロフェソール・シノダ
三重県	ニッケン学園

* 次の教育施設については、平成 18 年 2 月 6 日以降に修了した者に限ります（平成 18 年 2 月 5 日以前に修了した者は注 1-3 の「準備教育を行う課程」を修了する必要があります。）。

所在地	令和 7 年 3 月 26 日現在で確認されている教育施設の名称
茨城県	インスチット・エドゥカレ JT（旧エスコラ・ピンゴ・デ・ジェンテ及び旧インスチット・エドゥカレ）、エスコラ・エ・クレシェ・ド・グルーポ・オピソン
群馬県	インスチット・エドカシヨナル・ジェンテ・ミウダ、インスチット・エドカシヨナル・セントロ・ニッポ・ブラジレイロ・デ・オイズミ、エスコラ・パラレロ各種学校（旧エスコラ・パラレロ太田校）、伯人学校イーエーエス太田（旧コレジオ・ピタゴラス・ブラジル太田校）
山梨県	アルプス学園（旧コレジオ・ピタゴラス・ブラジル山梨校）
長野県	コレジオ・エ・クレシェ・サウ・エ・ルス、長野日伯学園（旧コレジオ・ピタゴラス・ブラジル長野校）
岐阜県	セントロ・エドカシヨナル・ノヴァ・エターパ、ソシエダーデ・エドカシヨナル・ブラジリアン・スクール、HIRO 学園エスコラ・ブラジレイラ・プロフェッソール・カワセ（旧エスコラ・ブラジレイラ・プロフェッソール・カワセ）
静岡県	エスコラ・ブラジル（旧エスコラ・ブラジレイラ・デ・ハママツ）、伯人学校イーエーエス浜松（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール浜松校）
愛知県	エスコラ・サンパウロ、エスコラ・ネクター、伯人学校イーエーエス豊田（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール豊田校）、伯人学校イーエーエス豊橋（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール豊橋校）、伯人学校イーエーエス碧南（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール碧南校）
三重県	伯人学校イーエーエス鈴鹿（旧エスコラ・アレグリア・デ・サベール鈴鹿校）
滋賀県	日本ラチーノ学院（旧コレジオ・ラティーノ・デ・シガ）

* 次の教育施設については、平成 23 年 4 月 1 日以降に修了した者に限ります。

所在地	令和 7 年 3 月 26 日現在で確認されている教育施設の名称
東京都	インディア・インターナショナル・スクール・イン・ジャパン

* 次の教育施設については、平成 24 年 4 月 1 日以降に修了した者に限ります。

所在地	令和 7 年 3 月 26 日現在で確認されている教育施設の名称
東京都	グローバルインディアンインターナショナルスクールジャパン

* 次の教育施設については、平成 25 年 1 月 31 日以降に修了した者に限ります。

所在地	令和 7 年 3 月 26 日現在で確認されている教育施設の名称
静岡県	ムンド・デ・アレグリア学校（ブラジル課程に限る。）

* 次の教育施設については、平成 26 年 12 月 8 日以降に修了した者に限ります。

所在地	令和 7 年 3 月 26 日現在で確認されている教育施設の名称
埼玉県	各種学校インストット エドゥカシオナル ティー・エス レクレアソン

* 次の教育施設については、令和 3 年 4 月 15 日以降に修了した者に限ります。

所在地	令和 7 年 3 月 26 日現在で確認されている教育施設の名称
東京都	エベレストインターナショナルスクールジャパン

* 次の教育施設については、令和 6 年 1 月 16 日以降に修了した者に限ります。

所在地	令和 7 年 3 月 26 日現在で確認されている教育施設の名称
岐阜県	コレジオ・ソニオ・デ・クリアンサ

* 次の教育施設については、注 1-3 の「準備教育を行う課程」を修了する必要があります。

所在地	令和 7 年 3 月 26 日現在で確認されている教育施設の名称
静岡県	ムンド・デ・アレグリア学校（ペルー課程に限る。）

* 以上の教育施設については、今後追加されることがあります。

* コレジオ・ピタゴラス・ブラジル真岡校（栃木県）、エスコラ・パラレロ伊勢崎校（旧エスコラ・パラレロ東村校）（群馬県）、セントロ・エドカシヨナル・カナリーニョ（埼玉県）、セントロ・デ・アプレンジザージェン・ロゴス（埼玉県）、エスコラ・パラレロ伊那校（長野県）、インスチット・エドカシヨナル・エマヌエウ（岐阜県）、エスコラ・ウノ・デ・エデュカソン・インファンチウ・エンシーノ・フンダメンタウ・エ・エンシーノ・メディオ（静岡県）、エスコラ・ニッポ・ブラジレイラ（静岡県）、コレジ

オ・アウレオ（愛知県），京都韓国中学（京都府），セントロ・エドカショナル・ノヴォ・ダマスコ（長野県），コレージョ・ピタゴラス・ブラジル浜松校（静岡県），コレージョ・ドン・ボスコ（愛知県），コレージョ・ピタゴラス・ブラジル愛知校（愛知県）を修了した者は，事前に志望大学に確認してください。

- （注 2）早稲田大学系属早稲田渋谷シンガポール校，スイス公文学園，立教英国学院，帝京ロンドン学園，慶應義塾ニューヨーク学院，上海日本人学校及び如水館バンコクの各高等部がこれに該当します（平成 26 年 7 月 9 日現在）。
 下記の教育施設は，在外教育施設としての認定を取り消された又は指定を解除されているが，取り消された又は解除された日以前に修了した者は，文部科学大臣が指定した者に該当します。

教 育 施 設 の 名 称	認定を取り消された又は指定を解除された日
ブレーメン国際日本学園	平成 11 年 12 月 17 日
英国四天王寺学園	平成 13 年 3 月 31 日
英国暁星国際学園	平成 14 年 8 月 14 日
駿台アイルランド国際学校	平成 15 年 3 月 31 日
アルザス成城学園	平成 17 年 3 月 31 日
テネシー明治学院	平成 19 年 3 月 31 日
東海大学付属デンマーク校	平成 20 年 3 月 31 日
ドイツ桐蔭学園	平成 24 年 3 月 31 日
フランス甲南学園トゥレーヌ高等部（旧トゥレーヌ甲南学園）	平成 25 年 3 月 31 日
サウスクイーンズランドアカデミー	平成 25 年 3 月 31 日

- （注 3）専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- （注 4）国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- （注 5）ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- （注 6）フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- （注 7）グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
- （注 8）グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者
- （注 9）欧州連合構成国において大学入学資格として認められている欧州バカロレア資格を有する者
- （注 10）文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, NEASC, CIS, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 ＊ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は，今後追加されることがあります。
 ＊ 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体に認定されているかどうかは，在学（卒業）している教育施設に確認してください。
- （注 11）その他，旧制の諸学校の出身者や，小・中・高等学校の教諭の普通免許状を有する者など昭和 23 年文部省告示第 47 号で指定された者です。
- （注 12）高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定について不明な点があれば，文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課認定試験第二係（03 - 5253 - 4111(代表)）に問い合わせてください。
- （注 13）高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定で既に一部の科目に合格し，残りの試験科目に相当する科目について，在学している高等学校，高等専門学校，海外において高等学校の課程と同等の課程を有するものとして文部科学大臣が認定した在外教育施設又は文部科学大臣の指定により大学入学資格が付与されている専修学校高等課程で，令和 8 年 3 月 31 日までに修得する見込みの者がこれに該当します。
- （注 14）高等学校卒業程度認定審査について不明な点があれば，文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付企画係（03 - 5253 - 4111(代表)）に問い合わせてください。
- （注 15-1）大学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和 8 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

(注 15-2) 大学入学共通テストの出願までに、志望大学に個別の入学資格審査の申請をして認定を受けておいてください。個別の入学資格審査の申請方法は、各大学が定めているので、志望大学に問い合わせてください。

(注 15-3) 個別の入学資格審査による認定の効力は、当該入学資格審査を行う大学（学部・学科等ごとに個別の入学資格審査が実施される場合には、当該学部・学科等）にのみ及びます。

3 イヤホンが装着できない場合

(1) イヤホン不適合措置

リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できない者には、試験時間中にヘッドホンを貸与します。ヘッドホンの貸与を希望する場合は、**出願時にイヤホン不適合措置を申請する必要があります**。

なお、病気・負傷や障害等を理由として、リスニングでヘッドホンの貸与を希望する場合は、受験上の配慮申請のみを行ってください。重ねてイヤホン不適合措置の申請をする必要はありません。

(2) イヤホンの装着具合の確認

イヤホンについては、出願する前に、在学する高等学校等や大学入学共通テスト利用大学（[大学入試センターのウェブサイト](#)（→裏表紙）に掲載しています。）で実際に耳に装着できるかどうかを確認し、イヤホンが耳に装着できない場合、必ず出願時にイヤホン不適合措置を申請してください。

(3) 申請方法

イヤホン不適合措置を希望する志願者は、出願時に「イヤホン不適合措置申請書」を提出する必要があります。[大学入試センターのウェブサイトの「英語リスニングについて」](#)から「イヤホン不適合措置申請書」をダウンロードし、大学入学共通テスト利用大学の入試担当窓口で電話連絡の上、志願者本人が出向き、確認の署名をしてもらってください。その後、[共通テスト出願サイト](#)から出願内容の登録をする際に、「イヤホン不適合措置申請」の「申請する」にチェックをつけ、署名をもらった申請書の画像をアップロードしてください。

詳しい申請書の記入方法や申請方法は、大学入試センターのウェブサイトの「イヤホン不適合措置申請書」に記載しています。

なお、離島に居住している等の理由で、大学入学共通テスト利用大学で確認の署名をしてもらうことが困難な場合は、令和7年9月19日(金)までに大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に連絡してください（出願期間中は志願者問合せ専用電話が混み合いますので、早めに連絡してください。）。

(4) 注意事項

出願時にイヤホン不適合措置の申請がない場合は、試験当日にイヤホンが耳に装着できないと申し出ても、ヘッドホンの貸与はできません。この場合、イヤホンを手で押さえて受験することになります。

なお、出願後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病、症状の悪化等）により、イヤホンを装着できなくなった場合は、出願後の不慮の事故等による受験上の配慮（→p.47）によりヘッドホンの貸与を申請することができます。

4 成績の閲覧

出願時に希望した志願者は、[共通テスト出願サイト](#)のマイページ上で、成績を閲覧できます。

(1) 閲覧できる成績の内容

「受験した科目名」「試験日」「得点（科目別得点）」「段階表示（科目別）」（→p.59）をマイページ上の「成績の閲覧」から閲覧できます。

なお、「国語」については出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の得点を、「英語」については、「リーディング」「リスニング」別の得点及び段階表示を示します。

「地理歴史、公民」及び「理科」については、次のとおりです。

- ア 「地理歴史、公民」又は「理科」で2科目を受験した場合は、解答順に「第1解答科目」，「第2解答科目」別の得点及び段階表示を示します。
- イ 「地理歴史、公民」で『地理総合／歴史総合／公共』を受験した場合は、科目別得点（選択した出題範囲の合計点）及び段階表示に加え、出題範囲別（「地理総合」「歴史総合」「公共」）の得点及び段階表示も示します。
- ウ 「理科」で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を受験した場合は、科目別得点（選択した出題範囲の合計点）及び段階表示に加え、出題範囲別（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）の得点及び段階表示も示します。

(2) 成績の閲覧期間

令和8年4月1日(水)10:00～4月30日(木)23:59

※ マイページ作成時に高等学校等から付与されたメールアドレスを登録している場合は、4月1日以降も使用可能かを事前に確認しておいてください。メールが受信できないと、マイページにログインすることができない場合がありますので、注意してください。

登録しているメールアドレスを変更する場合は、マイページ上の「メールアドレス変更」から手続を行ってください（→p.40）。

(3) 成績の閲覧の申込方法

成績の閲覧を希望する志願者は、[共通テスト出願サイト](#)から出願内容の登録をする際に成績の閲覧を「希望する」と登録し、成績閲覧手数料（300円）を検定料と併せて支払ってください。

5 検定料及び成績閲覧手数料

(1) 検定料等の支払金額

支払金額は、受験教科数、成績の閲覧（手数料 300 円）の希望の有無により、下表の 4 種類があります。[共通テスト出願サイト](#)のマイページ上で出願内容を登録した後、登録された出願内容に基づいて計算された支払金額が表示されますので、必要な金額を支払ってください。

支払方法については、「STEP5 検定料等の支払い」（→p.38）を参照してください。

※ 支払いの際には、検定料等のほか、支払方法を問わず一律「188 円」の手数料がかかります。

区 分	成績の閲覧を希望する場合	成績の閲覧を希望しない場合
3 教科以上を受験する場合	18,300 円	18,000 円
2 教科以下を受験する場合	12,300 円	12,000 円

なお、受験教科数を数える際に、地理歴史と公民については、この 2 教科を合わせて 1 教科として数えますので注意してください。

例えば、国語、地理歴史、公民の 3 教科を受験する場合でも、出願時においては、地理歴史と公民を合わせて 1 教科として数えますので、支払う検定料等は、「2 教科以下を受験する場合」の「12,300 円」又は「12,000 円」のいずれかとなります。

(2) 支払期間

令和 7 年 9 月 16 日(火)10:00～10 月 3 日(金)23:59

（出願内容の登録期間は 9 月 16 日(火)10:00～10 月 3 日(金)17:00）

※ 検定料等の支払いを行わないと、出願は完了しません。

(3) 検定料等の返還

① 検定料及び成績閲覧手数料が返還されるのは、次のア～エの場合です。出願が受理されている場合、大学入学共通テストを受験しなくても支払済の検定料等は返還しません。

ア 出願内容の登録期間又は出願内容の確認・訂正期間中に、登録教科数を「3 教科以上」から「2 教科以下」に変更し、検定料の減額が発生した場合

イ 出願内容の登録期間又は出願内容の確認・訂正期間中に、成績の閲覧を「希望する」から「希望しない」に変更し、成績閲覧手数料の減額が発生した場合

ウ 出願が受理されなかった場合

エ 検定料等を二重に支払った場合

② 返還の方法

ア 上記①ア・イの場合

以下のとおり、検定料等の支払方法により異なります。

<クレジットカードでの支払い>

差額決済を行います。後日、カード明細等により確認してください。

<コンビニエンスストア・Pay-easy（ペイジー）での支払い>

クレジットカードのように差額決済は行えないため、大学入試センターでは、「GMO ペイメントゲートウェイ（株）」に返還業務を委託し、委託業者より銀行振込にて返還します。

このため、委託業者からメールで返還案内が届きますので、案内に記載された期限までに返還手続きをしてください。

なお、返還が銀行振込になることに伴い振込手数料が発生するため、この振込手数料を除いた金額が返還額として振り込まれることになります。

※ 振込口座等の記載間違いにより、振込不能となった場合は、再度振込を行うために手数料が生じることになるので、返還手続き時の入力間違いのないよう十分注意してください。

（参考） 銀行振込を行うため、以下の手数料がかかります。

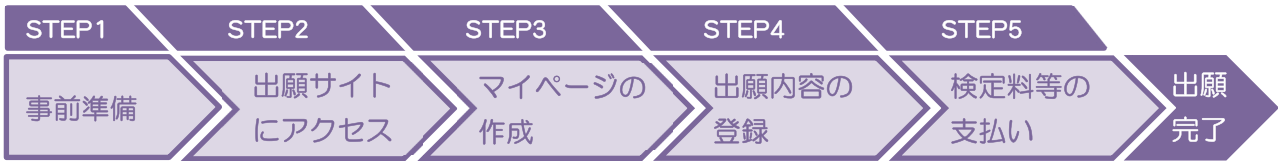
- ・ 銀行振込手数料：143 円／件
- ・ 銀行振込エラー手数料：220 円／件
→振込口座の間違い等により口座振込ができず、再度振込をする場合
- ・ 銀行振込組戻し手数料：880 円／件
→振込口座の間違い等により別口座に振込をしてしまい、組戻しが必要な場合

イ 上記①ウ・エの場合

対象者に対して、大学入試センターから別途お知らせします。

6 出願方法

出願は、原則として[共通テスト出願サイト](#)から行うこととなります。出願完了までの流れは以下のとおりです。



出 B

願

STEP

1



事前準備

① インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等の電子端末の準備

パソコンやスマートフォン、タブレット等の電子端末からインターネットを通じて出願内容の登録等を行います。

次の推奨環境を満たすパソコン等を用意してください。

なお、自宅にインターネット環境がない場合は、学校や公共施設等からの出願を検討してください。

●推奨環境

パソコン	Windows : Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン)
	MacOS : Safari (最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 12.0 以上 (Android Chrome 最新バージョン) iOS : 15.0 以上 (Safari 最新バージョン)

※ 使用するブラウザで、以下の設定を行ってください。

- ・ JavaScript を有効にする。
- ・ Cookie を有効にする。

※ セキュリティソフトをインストールしている場合、共通テスト出願サイトが正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。

セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。

② メールアドレスの準備

出願に当たっては、メールアドレスが必要です。日常的にメールを確認できるメールアドレスを準備してください。フリーメール（Gmail や Yahoo!メール等）や携帯電話のメールアドレスでも構いませんが、「no-reply@cen.dnc.ac.jp」, 「system@p01.mul-pay.com」及び「noreply@gmo-pg.com」からのメールを受け取れるように（迷惑メールに振り分けられないように）あらかじめ設定しておいてください。

なお、一つのメールアドレスを複数人で利用することはできません。

登録したメールアドレスに、マイページへのログイン時に必要な認証コード（→p.34）や、出願完了（検定料等支払完了）時等の確認メールが送信されます。

③ 検定料等支払方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easy が利用可能な金融機関 ATM 及びインターネットバンキング）が利用できますので、どの支払方法を選択するか、あらかじめ確認しておいてください（→p.29・38）。

④ 顔写真データの準備

出願内容の登録をする際に、顔写真データのアップロードが必要です。詳細については、37ページの「（注2） 顔写真について」で確認し、あらかじめ準備してください。

登録された顔写真は、「受験票（→p.42～44）」に表示されるほか、試験場の大学や、志願者が大学入学共通テストを利用した選抜区分に出願した大学に対して提供されます。

STEP

2



共通テスト出願サイトにアクセス

【共通テスト出願サイト】 <https://examinee.dnc.ac.jp/examinee>



※ [大学入試センターのウェブサイト](#)の「令和8年度試験」のページからもアクセスできます。

※ 本案内に掲載されている共通テスト出願サイトの画像はイメージ図ですので、実際の画面とは異なる場合があります。

STEP

3



マイページの作成 【令和7年7月1日(火)10:00～10月3日(金)17:00】

【マイページについて】

出願には、マイページの作成が必要です。出願等に係る全ての手続（出願内容の登録や訂正、受験票の取得、成績の閲覧等）は、志願者がマイページで行うことになります。

※ マイページの作成期間は7月1日(火)10:00～10月3日(金)17:00です。

（出願期間前から作成することが可能です。）

※ マイページの利用期間は、令和8年4月30日(木)23:59までです。

【マイページの作成手順】

次の①～⑥の手順に従って、必要事項を入力してマイページの作成を行ってください。

詳細な手順は、[共通テスト出願サイト](#)トップページの「共通テスト出願サイト志願者用操作マニュアル」で確認し、入力画面に沿って間違いのないよう登録してください。

① ページ下方にある「初めての方はこちら」の「マイページを作成」からマイページを作成してください。



STEP 3

利用規約、個人情報の取扱い

利用規約

☒ 利用規約に同意する

個人情報の取扱い

☒ 個人情報の取扱いに同意する

次へ >

② 「利用規約」及び「個人情報の取扱い」を必ず読んでください。

承諾の上、「利用規約に同意する」及び「個人情報の取扱いに同意する」にチェックを入れて「次へ」を選択します。

マイページ作成

アカウントを登録しマイページを作成します。各項目に必要な事項を入力してください。
・「氏名（漢字等）」欄では、ひらがなコードの登録・漢字・数字以外の文字は、登録エラーになる場合があります。
その場合は、代替文字又はカタカナで入力してください。
・アルファベットとローマ数字（例：1, 2, 3）は登録できませんので、「氏名（漢字等）」欄も、カタカナで入力してください。

氏名（カナ）

セイ（全角）

メールアドレス

メールアドレスは、大学入学共通テスト出願サイトのユーザーIDとして利用します。
フリーメール（GmailやYahoo!メール等）や携帯電話のメールアドレスでも構いませんが、「no-reply@cen.dnc.ac.jp」及び「noreply@gmo-jug.com」からのメールを受け取れるように（迷惑メールに振り分けられないように）あらかじめ設定をお願いいたします。
テストメール送信後、メールが届かない場合は、メール受信設定の確認や迷惑メールフォルダに振り分けられていないか、メール受信に必要なストレージ容量が不足していないや確認してください。しばらく経っても受信が確認できない場合、登録しようとしたメールアドレスを運営する会社の迷惑メール対策の関与で当該サイトからのメールが迷惑メール等と判断されたような場合は、別のメールアドレスを利用して登録を行うようにしてください。

メールアドレス

aaaaabbbb@cccc.co.jp

メールアドレス（再入力）

aaaaabbbb@cccc.co.jp

テストメール送信（※テストメールを送っただけでは登録は完了しません）

③ 必要事項（氏名（カナ）・氏名（漢字等）・生年月日・メールアドレス・電話番号・出願資格・パスワード・秘密の質問と答え）を入力して「次へ」を選択します。

※ 「メールアドレス」を入力後、必ず「テストメール送信」を選択し、メールが受信できることを確認してください。メールが受信できない場合、迷惑メール等に振り分けられていないか、受信拒否設定がされていないか等、確認してください。

仮登録メール送信完了

まだ登録は完了しておりません。

仮登録メールを送りしました。
仮登録メールが届かない場合は、メール受信設定の確認や迷惑メールフォルダに振り分けられていないか、メール受信に必要なストレージ容量が不足していないや確認してください。
しばらく経っても受信が確認できない場合、登録しようとしたメールアドレスを運営する会社の迷惑メール対策の関与で当該サイトからのメールが迷惑メール等と判断されたような場合は、別のメールアドレスを利用して登録を行うようにしてください。

④ 入力内容に問題がなければ、「仮登録メール送信完了」画面が表示されます。

確認 【大学入学共通テスト】アカウント仮登録受付のお知らせ

大学入試センター（大学入学共通テスト出願サイト）です。
大学入学共通テスト出願サイトのアカウントの仮登録を受け付けました。
以下のURLにアクセスし、マイページ作成（アカウントの登録）を完了させてください。

<https://...>

※上記のURLは発行より60分間有効です。
60分を経過してしまった場合は、お手数ですが以下より再度手続きをお願いいたします。

【利用規約、個人情報の取扱い等】
<https://examinee.dnc.ac.jp/examinee/AgreementDisplay/AgreementDisplay>

※本メールは送信専用メールアドレスから自動で送信しています。本メールに返信はいたしてもお答えできませんのでご了承ください。
※本メールは電子入試システム大学入学共通テスト出願サイトに登録されているメールアドレスへ送信しております。
※本メールに見えない場合は、お手数ですがメールを確認してください。よろしくお願いいたします。

⑤ 「アカウント仮登録受付のお知らせ」メールの受信を確認し、記載されているURLにアクセスしてください。

なお、URLは、発行後60分を過ぎると無効になるので、60分を超過した場合は、再度④からやり直してください。
※ 「アカウント仮登録受付のお知らせ」メールを受信できない場合、迷惑メール等に振り分けられていないか、受信拒否設定がされていないか等、確認してください。

大学入学共通テスト出願サイト TOP

マイページ作成完了

① マイページの作成（アカウントの登録）が完了しました。「TOP」からログインしてください。

⑥ 「マイページ作成完了」画面が表示され、マイページ作成が完了します。

なお、ここで登録した必要事項（出願資格を除く。）については、原則として、マイページ作成後、随時訂正が可能です（➡p.40）。

出B
願

※ マイページ作成における注意事項

(1) 氏名（漢字等）について

- ① JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字は、登録エラーになる場合があります。その場合は、代替文字又はカタカナで入力してください。

なお、受験票等、共通テスト出願サイトから取得する書類には、ここで登録した氏名が記載されます。

※ 代替文字の例

高→高, 吉→吉, 崎→崎, 塚→塚, 廣→廣, 濱→濱, 槁→橋, 祥→祥,
瀬→瀬, 靖→靖, 静→静, 邦→邦, 柳→柳, 徳→徳, 隆→隆, 昇→昇,
角→角, 寛→寛, 葉→桑 など

- ② アルファベットは登録できませんので、「氏名（漢字等）」欄も、カタカナで入力してください。

(2) 生年月日について

22ページに記載の出願資格に該当する志願者のうち、令和8年4月2日以降に18歳に達する志願者は、生年月日が入力できませんので、大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に問い合わせてください。

【マイページへのログイン】

- [共通テスト出願サイト](#)にアクセスし、登録したメールアドレスとパスワードを入力して、「ログイン」を選択します。

- 「認証コード入力」画面が表示されますので、登録したメールアドレスに送信された認証コードを入力してログインしてください。

※ 「ログイン認証コード」メールを受信できない場合、迷惑メール等に振り分けられていないか、受信拒否設定がされていないか等、確認してください。

- ログインすると、マイページが表示されます。



① マイページにログインし、トップページの「出願」を選択

- ※ 出願内容の登録期間は9月16日(火)10:00～10月3日(金)17:00です。
- ※ 出願内容の登録を行えるのは出願内容の登録期間内のみです。
- ※ 詳細な手順は、[共通テスト出願サイト](#)の「共通テスト出願サイト志願者用操作マニュアル」で確認し、入力画面に沿って間違いのないよう登録してください。



② 留意事項

画面に表示された留意事項の内容を確認してください。
承諾の上、「上記内容に同意する」及び「大学入学共通テスト利用大学への入学を志願している」にチェックを入れて「次へ」を選択します。



③ 志願者情報の入力

画面の指示に従って、「志願者情報」，「顔写真アップロード」，「現住所・電話番号」，「出願資格」及び「イヤホン不適合措置申請【希望者のみ】」の入力等を行ってください。

- 「志願者情報」
氏名（カナ）・氏名（漢字等）・生年月日・メールアドレス・電話番号については、マイページ作成の際に登録した内容が自動で入力されています（→p.36（注1））。

- 「顔写真アップロード」（→p.37（注2））

- 「現住所・電話番号」（→p.36（注1））

- 「出願資格」（→p.22）

63ページ以降の「高等学校等一覧」を参考にして、「高等学校等検索」又は「その他出願資格検索」から該当する出願資格を検索し、選択してください。

高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校の「卒業見込者」の出願資格で出願する場合は、「在学する学校への出願情報の提供」に同意するか否かを選択する必要があります。「同意する」を選択した場合は、大学入試センターから在学する学校に対し、以下の出願内容等の情報を提供します。

- ・ 出願状況（出願日時，出願状態，検定料支払状況，顔写真チェック状態，不備状態）
- ・ 受験上の配慮申請書の送付状況
- ・ 志願者情報（氏名（漢字等・カナ），性別，生年月日，課程，学科，クラス名）
- ・ 出願情報（受験教科，地理歴史，公民及び理科の登録科目数，外国語の別冊子試験問題配付希望の有無，イヤホン不適合措置申請の有無，成績の閲覧の希望の有無）
- ・ 受験情報（受験番号，試験場情報）

- 「イヤホン不適合措置申請【希望者のみ】」（→p.27）



④ 志願者情報の確認

③で入力した志願者情報に誤りがないかを確認してください。



⑤ 教科等の選択 (→p.9)

画面の指示に従って、全ての教科について、受験の有無等を選択してください。また、成績の閲覧の希望の有無も選択してください。

※ 受験する教科等の選択に当たっては、あらかじめ志望大学の募集要項等を確認してください。

⑥ 教科等の確認

⑤で選択した教科等に誤りがないかを確認してください。「次へ」を選択すると、入力内容が一時保存されます。

⑦ 支払方法の選択 (→p.38)

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easyから支払方法を選択してください。「次へ」を選択すると、決済代行事業者の専用サイトへ移動し、手続を行うことになります。

⑧ 出願内容登録済み

※ 出願内容を登録しただけでは、出願は完了しません。

必ず次の STEP5 に従って、検定料等を支払ってください。

※ 出願内容の登録における注意事項

故意に虚偽の内容を登録した場合（本人以外の写真を登録する又は本人以外の情報を登録するなど。）は、不正行為となります。不正行為と認定された場合は、大学入学共通テストの受験は認められません。

なお、試験当日に故意に虚偽の内容を登録したことが判明した場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以降の受験ができなくなります。

また、受験した大学入学共通テストの全ての教科・科目の成績を無効とします。

(注1) 志願者情報の入力における注意事項

- ・ JIS漢字コードの第1・第2水準以外の文字は登録エラーになる場合があります（例：高，崎）。その場合は、代替文字又はカタカナで入力してください（→p.34「※ マイページ作成における注意事項」）。
- ・ 一部記号（例：&，[^]）やローマ数字（例：Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ），ギリシャ数字（例：α，β，γ）は入力できません。代替文字（算用数字やカタカナ）を入力してください。

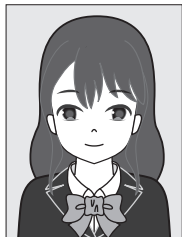
(注2) 顔写真について

令和7年7月1日以降に撮影した上半身・無帽・無背景の顔写真データを、出願を行うパソコン、スマートフォン等にあらかじめ保存しておいてください。鮮明な画像（カラー・白黒は問いません。）であれば、スマートフォンやデジタルカメラ等で撮影した写真でも構いませんが、アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。

また、既にプリントアウトされている写真やパソコン等の画面に表示されている写真を再撮影（複写）したものも使用できません。

なお、写真は共通テスト出願サイト上で既定のサイズに編集（拡大・縮小・回転・切り抜き）が可能ですが、上部の余白が多すぎる写真など、一部、的確な調整ができないものがあります。

【受付できる写真の例】



・上半身のみ写っている

・無帽

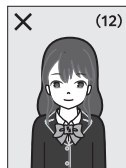
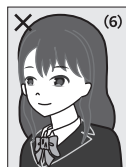
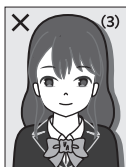
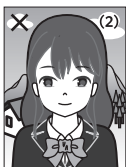
・無背景

※ 顔写真データのサイズは5MB以内、形式は「.jpg」「.jpeg」「.jpe」「.png」「.heic」「.heif」のいずれかとする。

※ 試験時間中に眼鏡をかける者は、眼鏡をかけて撮影してください。

登録した顔写真が承認（「受付できる写真」と判定）された場合は、メール及びマイページの「お知らせ」で通知します。なお、承認後の写真は変更できません。

【受付できない写真の例】



(1) 帽子やマスク、マフラー、サングラス、イヤホン（無線を含む）を着用している。

※ 医療上又は宗教上の理由で帽子等を着用した写真の登録を希望する場合は、受験上の配慮申請（→p.18）等が必要となりますので、大学入試センター事業第1課（→裏表紙）に連絡してください。

(2) 無背景でない（風景や壁の模様、カーテン等が写っている等）。

(3) 背景に影が映っている。

(4) 不鮮明である（ピンボケや手振れ等による）。

(5) アプリ等で加工・修正を施している。

(6) 正面を向いていない（顔が横向き、目線が正面でない等）。

(7) 顔の位置が中央でなく、片側に寄っている。

(8) 照明が反射している（顔や眼鏡に光が反射していて一部がよく見えない）。

(9) 目元がはっきり確認できない（前髪が長すぎる等）。

(10) 顔に影（前髪や撮影機材（スマートフォン等）等による）がかかっている。

(11) 顔が大きすぎて、頭や顎の一部が切れている。

(12) 顔が小さすぎる。

登録した顔写真が否認（「受付できない写真」と判定）された場合は、メール及びマイページの「お知らせ」で通知しますので、出願内容の登録期間中（9月16日（火）10：00～10月3日（金）17：00）か、出願内容の確認・訂正期間中（10月10日（金）10：00～10月17日（金）17：00）に、顔写真の再登録をしてください。この期間内に、「受付できる写真」を再登録しなかった場合は、12月以降に共通テスト出願サイトのマイページから取得した受験票を、試験当日に使用することができなくなります。

なお、顔写真が否認（「受付できない写真」と判定）された場合も、出願期間内に検定料等の支払いまで完了していれば、出願は受理されます。



検定料等の支払い 【令和7年9月16日(火)10:00～10月3日(金)23:59】

検定料等の支払期間は9月16日(火)10:00～10月3日(金)23:59です。

36ページの「STEP4 ⑦」で選択した次の①～③のいずれかの方法で、検定料等を支払ってください。(支払いの際には、検定料等のほか、支払方法を問わず一律「188円」の手数料がかかります。)

① クレジットカード

「STEP4 ⑦」の後に表示される専用サイトの画面に必要な情報を入力して、支払ってください。

【利用可能なクレジットカード】

VISA, Mastercard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club

※ クレジットカードは、志願者本人の名義でなくても構いません。

② コンビニエンスストア

「STEP4 ⑦」の後に表示される専用サイトの画面に必要な情報を入力して、支払いに必要な番号を取得し、コンビニエンスストアで支払ってください。

支払いに必要な番号は、メール及びマイページの「お知らせ」でも通知します。

【利用可能なコンビニエンスストア】

セブン-イレブン, ローソン, ファミリーマート, ミニストップ,
デイリーヤマザキ, セイコーマート

※ 日本国内のコンビニエンスストアに限ります。

※ 支払方法は、各コンビニエンスストアで確認してください。

③ Pay-easy(ペイジー)

「STEP4 ⑦」の後に表示される専用サイトの画面に必要な情報を入力して、支払いに必要な番号を取得し、Pay-easyが利用可能な金融機関のATM又はインターネットバンキングにて画面の指示に従って操作の上、支払ってください。

支払いに必要な番号は、メール及びマイページの「お知らせ」でも通知します。

※ キャッシュカードや口座は、志願者本人の名義でなくても構いません。

※ Pay-easyは、コンビニエンスストアの窓口や共用ATMでは利用できません。

※ 利用可能な金融機関や、操作方法は以下のウェブサイトから確認してください。

【日本マルチペイメントネットワーク推進協議会】<https://www.pay-easy.jp/>

なお、支払期限3日前の時点で検定料等の支払いが完了していない場合は、支払期限までに検定料等を支払うよう、メール及びマイページの「お知らせ」で通知します。

《出願完了》

出願完了後、メール及びマイページの「お知らせ」で通知します。

- ※ 出願は、共通テスト出願サイトでの出願内容の登録後、期限までに検定料等を支払うことにより完了となります。
- ※ 出願内容の登録をしていますが、10月3日(金)23:59までに検定料が支払われなかった場合は、出願は受理されず、大学入学共通テストは受験できません。

7 インターネット環境を利用することができない場合

インターネット環境を利用することができない志願者は、大学入試センターへ事前に申し出て許可された場合、郵送により出願することができます。

郵送による出願を希望する志願者は、申請書の提出等の手続が必要となりますので、インターネット環境を利用することができない旨を、令和7年7月1日(火)～9月12日(金)までに大学入試センター事業第1課(➡裏表紙)に電話で申し出てください。



1 出願内容の確認・訂正方法

(1) 出願内容の確認・訂正方法

出願内容の確認・訂正期間は、令和7年10月10日(金)10:00～10月17日(金)17:00です。

また、出願内容の登録期間中(9月16日(火)10:00～10月3日(金)17:00)も出願内容の確認・訂正が可能です。

出願内容は、[共通テスト出願サイト](#)のマイページ上にある「出願内容の確認・訂正」から確認してください。確認の結果、訂正が必要な場合は、出願内容の確認・訂正期間内に以下の手順で訂正してください。氏名や住所、登録教科等の全ての出願内容(承認済みの「顔写真」は除く。)の訂正が可能です。

なお、出願内容の確認・訂正期間経過後は、下表の項目を除いて一切訂正できません。

項目	マイページでの訂正方法	備考
メールアドレス	メールアドレス変更	随時訂正可能。
パスワード	パスワード変更	
氏名(漢字等・カナ)	志願者情報変更	随時訂正可能。ただし、以下の期間を除く。 (令和7年10月3日(金)17:00～10月10日(金)10:00 令和7年11月26日(水)17:00～12月10日(水)10:00 令和8年1月8日(木)17:00～1月26日(月)10:00)
生年月日		
電話番号		

【訂正の手順】

- ① [共通テスト出願サイト](#)のマイページにログインし、トップページの「出願内容の確認・訂正」を選択します。



- ② 出願内容が表示されるので確認してください。
- ③ 出願内容を訂正する場合及び不備がある場合(→p.41)は、「出願内容を訂正する」を選択し、訂正や再登録を行ってください。
- ④ 訂正により検定料等の追加支払いが発生した場合(→p.41)は、「支払いを行う」ボタンが表示されるので、出願時と同様に支払方法を選択し、検定料等を支払ってください(→p.38)。

追加分の検定料等の支払期間は、10月10日(金)10:00～10月17日(金)23:59です。

なお、支払期限までに支払いが完了していない場合、登録教科数や成績の閲覧の希望の有無は、訂正する前の登録内容のままとなります。

(2) 登録教科等を訂正する場合

登録教科等の訂正に伴い、検定料等に差額が発生するのは、次の①又は②の場合です。マイページ上の画面に表示される指示に従って手続きしてください。

① 追加支払いが発生する場合

支払期間は10月10日(金)10:00～10月17日(金)23:59です。

	変更内容	追加支払金額※
登録教科数	「2教科以下」→「3教科以上」	6,000円
成績の閲覧の希望	「希望しない」→「希望する」	300円

※ 支払いの際には、追加支払金額のほか、支払方法を問わず、一律で「188円」の手数料がかかります。

② 減額（払戻）が発生する場合

	変更内容	払戻金額※
登録教科数	「3教科以上」→「2教科以下」	6,000円
成績の閲覧の希望	「希望する」→「希望しない」	300円

※ 検定料等の支払方法としてコンビニエンスストア又はPay-easy（ペイジー）を選択した場合は、払戻に銀行振込手数料等がかかります（→p.29・30）。

(3) 出願内容に不備がある場合

登録された出願内容に以下の不備がある場合は、メール及びマイページの「お知らせ」で通知します。40ページの(1)のとおり、出願内容の確認・訂正期間中（10月10日(金)10:00～10月17日(金)17:00）に、**必ず再登録をしてください**。なお、出願内容の登録期間中（9月16日(火)10:00～10月3日(金)17:00）も再登録が可能です。

不備項目	再登録可能な期間	期間内に再登録しなかった場合（注）
顔写真（→p.37） 〔登録された顔写真が否認（「受付できない写真」と判定）された場合〕	10月10日(金)10:00～10月17日(金)17:00 ※ 出願内容の登録期間中（9月16日(火)10:00～10月3日(金)17:00）も再登録可能。	マイページから取得した受験票は試験当日使用不可
イヤホン不適合措置申請（→p.27） 〔登録された「イヤホン不適合措置申請書」の内容に不備があり、否認された場合〕		イヤホン不適合措置「申請なし」で登録

（注） 出願期間内に検定料等の支払いまで完了していれば、これらの不備があっても出願は受理されます。

2 受験票

受験票は、[共通テスト出願サイト](#)のマイページから各自で取得・印刷し、試験当日に持参してください。郵送は行いません。なお、スマートフォン等での画面表示では試験場に入場できませんので、必ず紙に印刷された受験票を試験当日に持参してください。

(1) 取得期間

令和7年12月10日(水)10:00～令和8年4月30日(木)23:59

(2) 取得方法

- ① [共通テスト出願サイト](#)のマイページにログインし、トップページの「受験票」を選択します。



- ② 受験票のPDFファイルが表示されるので、ページの拡大・縮小はせずに、A4サイズの白色の用紙に印刷してください。カラー・白黒は問いませんが、余白や裏面に何らかの記載がある受験票は使用できません。

なお、自宅にプリンターがない場合は、コンビニエンスストアのプリントサービス等や学校、公共施設等で印刷してください。

<受験票見本>

令和8年度 大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票

指定された試験場以外では、受験できません。

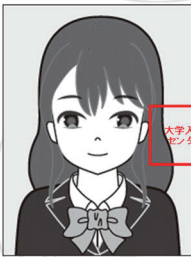
試験場名	東西大学第1試験場	試験場コード	200011	受験番号	1001X
所在地	東京都目黒区駒場2-19-23				
道順	京王電鉄井の頭線「駒場東大前駅」西口下車、徒歩5分				
問合せ大学	東西大学	試験当日以外の電話	03-3465-8600	この受験票は大学の入学手続まで必要です。	
		試験当日の電話	03-3465-8600		

西多摩高等学校

コマバ ミライ
駒場 未来

平成19年8月12日生

※ 上履き持参
※ ヘッドホン貸与



受験教科名			備考
1 日 目	地理歴史、公民	○	登録科目数2
	国語	—	
	外国語	○	別冊子配付あり
2 日 目	理科	○	登録科目数1
	数学①	○	
	数学②	○	
	情報	○	

【発行元】
東京都目黒区駒場2-19-23
独立行政法人大学入試センター

・ ○を付した教科のみ受験できます。
・ 数学は数学①と数学②を合わせて表示しています。
・ 登録された教科、科目数を変更することはできません。

試験当日までに次の注意事項を読み、試験が始まる前に点線部で山折りにしてください。

注 意 事 項

- この受験票は、試験当日必ず持参してください。
- 指定された試験場以外では受験できません。
- 受験する教科・科目の「受験者入室終了」時刻を確認し、試験当日は早めに試験場に到着してください。
- 解答には、必ず「H、F、HBいずれかの黒鉛筆」、「プラスチック製の消しゴム」を使用してください。
- 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末等の電子機器類は、受験する教科・科目の試験室への受験者入室終了時刻までに、必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。
- 試験時間中は不正行為と疑われるような行為は慎んでください。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。
また、受験した大学入学共通テストの全ての教科・科目の成績を無効とします。
なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

試験 日程	試験期日	第1日					第2日				
	出題教科	地理歴史、公民	国語	外国語		理科	数学①	数学②	情報		
				リーディング／筆記	リスニング						
	受験者入室終了	【2科目受験】 ●●:●●まで	【1科目受験】 ●●:●●まで	●●:●●まで	●●:●●まで	●●:●●まで	【2科目受験】 ●●:●●まで	【1科目受験】 ●●:●●まで	●●:●●まで	●●:●●まで	●●:●●まで
	試験開始	9:30	10:40	13:00	15:20	17:20	9:30	10:40	13:00	15:00	17:00
	試験終了	11:40		14:30	16:40	18:20	11:40		14:10	16:10	18:00

（注）受験上の配慮を申請し、「試験時間の延長を許可された受験者」の試験開始時刻等は、上記の票と異なるので該当する受験上の注意を参照してください。

出
願
後

【受験票に関する注意事項】

ア 受験票には、出願時に登録した顔写真が表示されます。また、試験場に関する事項のほか、受験教科に関する下表の事項が表示されます。

なお、出願後に出願内容の訂正をした場合は、訂正した内容のとおり表示されています。

事 項	表 示 内 容
受験教科名	受験できる教科（登録されている教科）には、受験教科名欄に「○」が表示されています（「―」が表示されている教科を受験することはできません。）。 なお、数学は「数学①」と「数学②」を合わせて表示しますので、「○」があれば両方又はいずれか一方のグループを受験することができます。
登録科目数 (地理歴史, 公民, 理科のみ)	「地理歴史, 公民」及び「理科」は、備考欄に登録科目数が表示されています。例えば、「地理歴史, 公民」の備考欄に「登録科目数 2」と表示されているのは、「地理歴史, 公民の中から 2 科目を受験する」という意味です。 なお、登録された科目数を、試験当日に変更することはできません。
別冊子試験問題	「外国語」で、出願時に別冊子試験問題の配付を希望した場合のみ、備考欄に「別冊子配付あり」と表示されています。

イ 試験日の直前は[共通テスト出願サイト](#)へアクセスが集中し、つながりにくくなる場合があります。余裕をもって印刷してください。

ウ 試験当日は印刷した受験票を必ず持参し、常に携行してください。試験場に入場する際は受験票の提示が必要です。また、試験時間中は受験票の中央部分を山折りにして、上部が見えるように机の上に置いてください。

エ 受験票は、各大学が実施する教科・科目に係る個別テスト等の当日及び入学手続の際にも必要となる場合がありますので、大学入学共通テスト終了後も大切に保管しておいてください。

(3) 受験票取得後の氏名・生年月日の訂正

受験票に表示されている内容のうち「氏名」と「生年月日」についてのみ、取得後に訂正することができます。令和 7 年 12 月 10 日(水)10:00～令和 8 年 1 月 8 日(木)17:00 の期間内に、マイページ上にある「出願内容の確認・訂正」から訂正を行ってください（➡p.40）。この期間経過後は、受験票の訂正は一切できません。

訂正した場合は、令和 8 年 1 月 13 日(火)10:00 以降に表示内容が訂正された受験票を取得し、印刷してください。

3 試験場の指定

- (1) 各志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする(7)の「試験地区区分表」に基づき設定した試験場の中から、大学入試センターが志願者数の分布や使用施設の収容数等を考慮し指定します。なお、指定された試験場は変更できません。
- (2) 大学入試センターが指定する試験場は、下表のとおり出願資格によって異なります。

出 願 資 格	指定する試験場	備 考
高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和8年3月に卒業見込みの者 *ただし、下欄②を除く。	出願時に登録された学校（注）が所在する試験地区内の試験場	試験地区は、原則として都道府県を単位とします。 ただし、北海道、岩手県、埼玉県、神奈川県、兵庫県、島根県、鹿児島県、沖縄県については、(7)の「試験地区区分表」で定めるとおりとします。
① 上欄以外の者 ② 高等学校の通信制課程を令和8年3月に卒業見込みの者	出願時に登録された現住所（注）の試験地区内の試験場	

（注）出願内容の確認・訂正期間（10月10日（金）10：00～10月17日（金）17：00）に訂正した場合は、訂正後の学校又は現住所

- (3) 試験場は、必ずしも各志願者の現住所の最寄りの試験場が指定されとは限りません。例えば、下の図のような場合、志願者 B さんが最寄りの試験場①ではなく、少し遠い試験場②に指定されることがあります。試験場①でも遠い志願者 A さんが、更に遠くの試験場②に指定されないようにするために、このようなことが起こります。



- (4) 同じ高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校の卒業見込みの者は同じ試験場に指定するよう考慮します。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」の試験時間に受験する科目数の組合せ、試験場のトイレ等の設備、病気・負傷や障害等のために受験上の配慮を申請した志願者への対応等の理由により、同じ学校の志願者が別々の試験場に指定されることがあります。
- (5) 試験場を指定する際に考慮される志願者数の分布等は毎年変化しますので、特定の住所や学校の志願者が、毎年同じ試験場に指定されとは限りません。例えば、ある学校の志願者が昨年度まで継続して試験場①に指定されていたとしても、今年度は試験場②に指定されることがあります。
- (6) 各志願者の試験場は、受験票に表示します。指定された試験場以外では、受験できません。

(7) 試験地区区分表（試験地区名）

北海道石狩振興局地区	埼玉県 〔草加市，蕨市，川口市の一部（卒業者等）は東京都へ〕	島根県 （鹿足郡は山口県へ）
〃 空知総合振興局地区	千葉県	岡山県
〃 上川総合振興局・宗谷総合振興局・留萌振興局地区	東京都 〔埼玉県の一部，神奈川県の一部を含む。〕	広島県
〃 後志総合振興局地区	神奈川県 〔川崎市，横浜市鶴見区・青葉区・都筑区は東京都へ〕	山口県 （島根県の一部を含む。）
〃 檜山振興局・渡島総合振興局地区	新潟県	徳島県
〃 胆振総合振興局・日高振興局地区	富山県	香川県
〃 十勝総合振興局地区	石川県	愛媛県
〃 根室振興局・釧路総合振興局地区	福井県	高知県
〃 オホーツク総合振興局地区	山梨県	福岡県
青森県 （岩手県の一部を含む。）	長野県	佐賀県
岩手県 〔久慈市，九戸郡洋野町・野田村は青森県へ〕	岐阜県	長崎県
宮城県	静岡県	熊本県
秋田県	愛知県	大分県
山形県	三重県	宮崎県
福島県	滋賀県	鹿児島県 〔大島郡与論町は沖縄県那覇地区へ〕
茨城県	京都府	沖縄県那覇地区 〔那覇市，うるま市，宜野湾市，浦添市，名護市，糸満市，沖縄市，豊見城市，南城市，国頭郡，中頭郡，島尻郡（鹿児島県の一部を含む。）〕
栃木県	大阪府	沖縄県宮古地区 （宮古島市，宮古郡多良間村）
群馬県	兵庫県 （美方郡新温泉町は鳥取県へ）	沖縄県石垣地区 （石垣市，八重山郡）
	奈良県	
	和歌山県	
	鳥取県 （兵庫県の一部を含む。）	

※ 上表については，今後変更が生じる場合があります。変更が生じた場合は，[大学入試センターのウェブサイト](#)（➡裏表紙）に掲載しますので，確認してください。

4 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮

- (1) 大学入学共通テスト出願後の不慮の事故等（交通事故，負傷，発病，症状の悪化等）のために受験上の配慮を希望する者には，申請に基づき大学入試センターで審査の上，「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」に準じた受験上の配慮事項を決定します。
- (2) この申請は，申請する理由が出願後に発生した場合に限り行うことができるものです。出願時までに申請すべき内容であった場合には対象となりません。
- (3) 試験直前の申請など，申請内容への対応が直ちにできないような場合には，希望する配慮が行えないことがあります。出願後の不慮の事故等による受験上の配慮を希望する場合には，申請の準備が出来次第，速やかに申請してください。

【申請期間】

令和7年12月17日(水)～令和8年1月13日(火)17:00

【申請方法等】

「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」の「**6 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮**」で確認してください。

「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」 掲載ページ
https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r8/r8_hairyo.html





試験

1 受験に当たっての主な注意事項

(1) 試験当日の注意事項

- ① 受験者入室終了時刻から試験終了までは、試験室から退室できません。
体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。
ただし、一時退室が認められた場合でも、休養室などでの受験はできません。
- ② インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルス等の感染症に罹患し、治癒していない場合は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験できません。追試験の受験を申請してください。
また、試験当日に発熱・咳等の症状があるなど、体調が万全でない場合は、無理して受験せず、追試験の受験を申請してください（→p.52）。
- ③ 大学入学共通テストを受験するに当たり、今後、必要な連絡事項がある場合は、12月上旬に[大学入試センターのウェブサイト](#)（→裏表紙）に掲載する「受験上の注意」に明示するほか、大学入試センターのウェブサイト等（→裏表紙）においても情報を提供しますので、確認してください。また、メール及び[共通テスト出願サイト](#)のマイページの「お知らせ」でも通知します。

(2) 試験時間中の注意事項

① 所持品の取扱い

ア 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・ 黒鉛筆（H、F、HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、鉛筆キャップ
- ・ シャープペンシル（メモや計算に使用する場合のみ可、黒い芯に限る。）
- ・ プラスチック製の消しゴム
- ・ 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）
- ・ 眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

なお、座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋（多汗症用を含む。）の使用を希望する場合は、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

イ 試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ・ 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類（リスニングの試験時間に配付するICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーは除く。）

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っている不正行為（→p.50）となることがあります。

なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。

(試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮の申請(→p.18)が必要です。)

ウ 試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、受験する教科・科目の試験室への受験者入室終了時刻(12月上旬に[大学入試センターのウェブサイト](#)(→裏表紙)に掲載する「受験上の注意」に明示。)までに、必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験開始前に、監督者の指示で電源が切られているか等の確認を行います。

エ 試験室内で、コート類を着用しても差し支えありません。

英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

オ 耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。

※ 試験時間中、病気・負傷や障害等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、受験上の配慮の申請(→p.18)が必要です。

② 試験時間中の監督者の巡視

試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。

また、不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合があります。

③ 解答上の注意事項

ア 解答には、必ず黒鉛筆(H, F, HBに限る。)及びプラスチック製の消しゴムを使用してください。黒鉛筆以外のもの(シャープペンシル等)を使用してマークした場合には、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください。

イ 解答用紙に解答科目(又は出題範囲)がマークされていない場合又は複数の科目(又は出題範囲)にマークされている場合は、解答科目(又は出題範囲)が特定できないため、0点となる場合があります。

なお、正しくマークされていない場合の採点の取扱いについては、12月上旬に[大学入試センターのウェブサイト](#)(→裏表紙)に掲載する「受験上の注意」で確認してください。

ウ 受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

エ 解答は、解答用紙の「マーク例」に従って、正しくマークしてください。マークが薄い場合、一部分しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない(消し跡が残っている)場合は、解答が正しく読み取れないことがあります。

④ その他の注意事項

ア 配付された問題冊子は、その試験時間が終了するまで、試験室から持ち出すことはできません。持ち出した場合は、不正行為となります。

イ 地理歴史、公民においては、「地理歴史、公民①」と「地理歴史、公民②」の2冊の問題冊子が配付されます。試験時間中は配付された2冊の問題冊子を机の上に置いてください。

また、外国語において別冊子試験問題の配付を希望した場合は、別冊子試験問題と「外国語〔『英語(リーディング)』〕」の2冊の問題冊子が配付されます。この場合においても試験時間中は2冊の問題冊子を机の上に置いてください。

ウ 試験時間中に監督者が、出願時に登録した写真と受験者の顔の確認を行います。本人確認のために、顔を上げるよう監督者が指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう監督者が指示することがあります。

エ 試験時間中に日常的な生活騒音等(監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、リスニングのイヤホンやヘッドホンからの音漏れ、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置はありません。

(3) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した大学入学共通テストの全ての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります（出願内容の登録における不正行為については、「※ 出願内容の登録における注意事項」（→p.36）を確認してください。）。

ア 共通テスト出願サイトから取得した受験票等の内容を改ざんすること。

イ 解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。

ウ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。

エ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

オ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

カ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

キ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

ク 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

ケ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類（→注）を使用すること。

※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮の申請（→p.18）が必要です。）

コ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱い、①と同様です。

ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類（→注）、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 監督者の指示に従わず、IC プレーヤーを操作したり、IC プレーヤーの不具合について虚偽の申出をすること。

エ IC プレーヤー、イヤホン及び音声メモリーを試験室から持ち出すこと。

オ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

カ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

キ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

ク その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

（注） リスニングの試験時間に配付するICプレーヤー、イヤホン及び音声メモリーは除く。

(4) 解答用紙の正しいマーク・記入例

(試験場コード 200011, 受験番号 1120C の駒場未来が『数学 I, 数学 A』を解答する場合)

マーク例

良い例	悪い例

③

- ・1科目だけマークしなさい。
- ・解答科目欄が無マーク又は複数マークの場合は、0点となります。

解答科目欄

数学 A	数学 I

解答科目
チェック欄

① 受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしなさい。

↓

受 験 番 号 欄				
千位	百位	十位	一位	英字
1	1	2	0	C
—	(0)	(0)	●	(A)
●	●	(1)	(1)	(B)
(2)	(2)	●	(2)	●
(3)	(3)	(3)	(3)	(H)
(4)	(4)	(4)	(4)	(K)
(5)	(5)	(5)	(5)	(M)
(6)	(6)	(6)	(6)	(R)
(7)	(7)	(7)	(7)	(U)
(8)	(8)	(8)	(8)	(X)
(9)	(9)	(9)	(9)	(Y)
—	—	—	—	(Z)

A
B
C
H
K
M
R
U
X
Y
Z

受験番号マーク
チェック欄

✓

② 氏名・フリガナ, 試験場コードを記入しなさい。

↓

フリガナ	コ マ バ ミ ラ イ				
氏 名	駒 場 未 来				

試験場	十萬位	萬位	千位	百位	十位	一位
コード	2	0	0	0	1	1

氏 名 等
チェック欄

✓

2 追試験及び再試験

(1) 追試験の実施

① 追試験の対象者

ア 疾病（インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス・風邪等を含む。）・負傷により試験を受験できない者

イ 試験場に向かう途中の事故により試験を受験できない者

ウ その他やむを得ない事由（両親等の危篤・死亡、自宅の火災等）により試験を受験できない者

② 追試験については、令和8年1月24日(土)及び25日(日)に実施します。ただし、下記(2)の再試験をこの期日より後に実施する必要がある場合には、追試験についても再試験と同一の期日に実施します。

③ 出題教科・科目の出題方法及び試験時間等は、本試験に準じます。

④ 追試験の試験場は、原則として全国を2地区に分け、地区ごとに設定します。

試験場は、[大学入試センターのウェブサイト](#)（→裏表紙）から確認してください。

⑤ 追試験の受験申請方法等の詳細については、12月上旬に[大学入試センターのウェブサイト](#)（→裏表紙）に掲載する「受験上の注意」に明示します。

⑥ 追試験についての再試験及び追試験はありません。

(2) 再試験の実施

① 再試験は、雪・地震等による災害、試験実施上の事故、その他の事情により、本試験が所定の期日に実施できない又は完了しなかった場合のみ実施します。

② 再試験については、令和8年1月24日(土)及び25日(日)に実施します。ただし、当日の実施が不可能な場合は、この期日より後にできるだけ速やかに実施します。

③ 再試験は、原則として所定の期日までに受験希望を申し出た場合に許可します。

④ 再試験についての再試験及び追試験はありません。



志望大学への出願等に係る手続

1 成績請求情報の提供手続

志願者は、各大学の大学入学共通テストを利用した選抜区分に出願する場合、成績請求情報（注）を志望大学へ提供するための手続が必要です。

なお、この手続だけで志望大学への出願は完了しません。志望大学への出願手続については、志望大学の募集要項等をよく確認してください。

（注） 成績請求情報とは、各大学が大学入試センターに志願者の大学入学共通テストの成績を請求するための情報です。

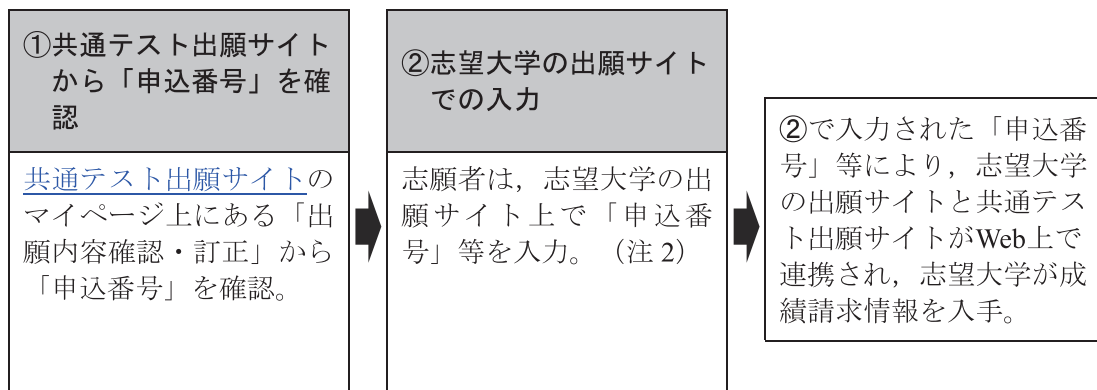
(1) 手続の方式

「Web 方式」，「チケット方式」の 2 通りがあります。志望大学の募集要項等で大学が指定する方式・手続方法を確認し、定められた期間内に手続を行ってください。

① 「Web 方式」

志願者が、志望大学の出願サイト上で「申込番号」等（注 1）を入力することで、志望大学の出願サイトと共通テスト出願サイトが Web 上で連携され、大学入試センターから志望大学に成績請求情報を提供する方式です。

【手続の流れ】



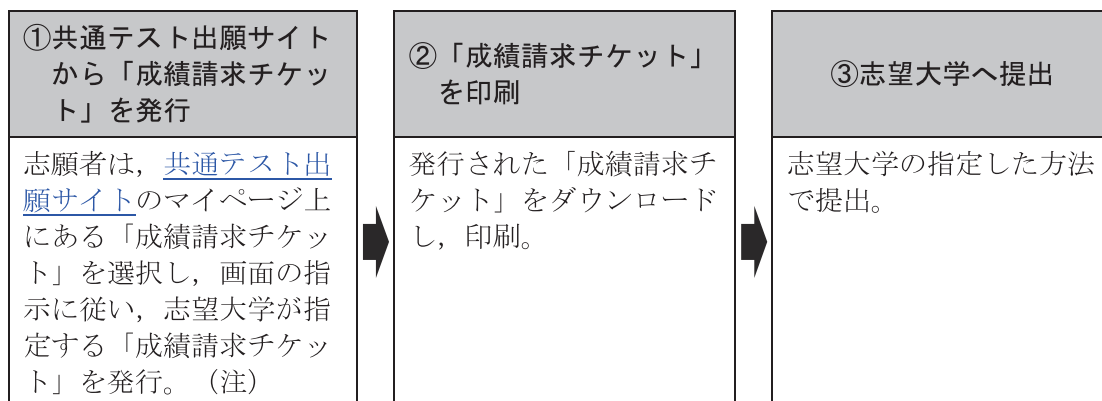
（注 1） 「申込番号」等とは、共通テスト出願サイトの「ユーザ ID（メールアドレス）・パスワード」及び「申込番号」のことです。なお、「申込番号」は、出願後であれば、随時確認できます。

（注 2） 共通テスト出願サイトの「ユーザ ID（メールアドレス）・パスワード」は、連携のための認証のみに使用され、志望大学には提供されません。

②「チケット方式」

志願者が共通テスト出願サイトから成績請求情報が記載された「成績請求チケット」を取得し、志望大学に提出する方式です。

【手順の流れ】



（注）「成績請求チケット」は、令和7年12月10日（水）から(2)の提供区分ごとに順次発行可能となります（発行可能な期間は、「成績請求チケット」の画面で確認してください。）。

(2) 成績請求情報の提供区分

成績請求情報は下表のとおり、八つの提供区分がありますので、手続を行う際は、必ず志望大学の募集要項等により確認してください。

成績請求情報の提供区分（入試区分等）	提供先（出願する大学）	提供先大学数
国公立推薦型選抜用	大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜を実施する国公立大学（注1）	1大学
国公立総合型選抜用	大学入学共通テストを課す総合型選抜を実施する国公立大学	—
国公立前期日程用	前期日程で試験を実施する国公立大学（注2）	1大学
国公立後期日程用	後期日程で試験を実施する国公立大学（注2）	1大学
公立大学中期日程用	中期日程で試験を実施する公立大学（注2）	1大学
国公立第2次募集用	欠員補充第2次募集を実施する国公立大学	1大学
私立大学用	大学入学共通テストを利用する私立大学・専門職大学（注3）	—
公私立短期大学用	大学入学共通テストを利用する公私立短期大学・専門職短期大学（注3）	—

（注1）国公立大学の学校推薦型選抜は、大学入学共通テストを課すかどうかにかかわらず、一つの大学・学部にしき出願できません。

（注2）国公立大学前期・後期日程及び公立大学中期日程は、それぞれ一つの大学・学部にしき出願できません。

（注3）専門職大学・専門職短期大学については、必ず大学の募集要項等で成績請求情報の提供区分を確認してください。

(3) 手続の取消し

国公立大学の各入試区分（総合型選抜を除く。）については、複数の大学に出願することができないため、(2)のとおり、共通テスト出願サイトにおいては、成績請求情報の提供先大学数を1大学に制限しています。

これらの入試区分に関し、操作の誤りや出願先の変更等により手続を取り消したい場合、「Web方式」、「チケット方式」いずれの方式であっても、以下の手順で取消しを行うことになります。

（取消しの手順）

- ① 手続を取り消したい大学に連絡し、取消しが可能であるかを確認する（この確認は、必ず行ってください。）。
- ② ①で取消しが可能である場合、[共通テスト出願サイト](#)のマイページ上にある「成績請求チケット」を選択し、取り消したい入試区分の成績請求情報について、「取消」を選択する。

※ ②を行っただけでは、大学の出願を取り下げたことにはならないため、手続を取り消したい大学へ必ず連絡し、取り下げの可否も含め確認してください。

2 国公立大学入学確認票

国公立大学の入学手続を行う際に必要です。

国公立大学（公立短期大学及び一部の公立大学を除く。）の入学手続に際しては、志願者が[共通テスト出願サイト](#)のマイページにおいて入学手続を行う大学を登録した上で、「国公立大学入学確認票」を取得し、大学に提出することが必要です。

提出方法や期限等については、入学手続を行う大学の募集要項等で確認してください。

(1) 取得期間

令和8年2月上旬（予定）～4月30日（木）23：59

(2) 取得方法

- ① [共通テスト出願サイト](#)のマイページにログインし、トップページの「国公立大学入学確認票」を選択します。
- ② 画面の指示に従って、入学手続を行う大学を登録し、「国公立大学入学確認票」を取得してください。
 - ※ 「国公立大学入学確認票」は、志願者が成績請求情報を提供した国公立大学のうち、一つの大学しか登録・発行できません。
 - ※ 操作誤り等で、入学手続をする予定のない大学を登録した場合、志願者側では訂正できません。このような場合、志願者本人が大学入試センター事業第1課（➡裏表紙）に連絡し、訂正を申し出てください。

3 過年度の大学入学共通テストの成績を利用する選抜

大学入学共通テストを利用する大学では、過年度（令和5年度から令和7年度大学入学者選抜。以下、同じ。）の大学入学共通テストの成績を当該年度の入学者選抜に利用することがあります。過年度の大学入学共通テストの成績の利用については、各大学の募集要項等で確認してください。

(1) 「過年度成績請求票」について

過年度の大学入学共通テストの成績を利用する大学に志願する者は、当該大学に出願する際に大学入試センターが発行する「過年度成績請求票」を提出する必要がありますので、[大学入試センターのウェブサイト](#)（→裏表紙）から「申請書」をダウンロードして、大学入試センターに申請してください。

(2) その他の注意事項

- ① 過年度の大学入学共通テストの成績を利用する大学へ出願する際には、「該当する年度の大学入学共通テスト受験票」も必要となりますので、紛失して手元にない場合は、志望大学に問い合わせてください。
- ② 令和9年度以降の大学入学者選抜において、令和8年度の大学入学共通テストの成績を利用する大学へ出願する際には、「令和8年度大学入学共通テスト受験票」が必要となりますので、大切に保管しておいてください。



試験実施後

1 正解・平均点等の発表

(1) 正解等の発表

大学入学共通テストの本試験、追試験・再試験の正解及び配点については、各日の全試験終了後に、その日行われた科目分を[大学入試センターのウェブサイト](#)（→裏表紙）で発表します。

(2) 平均点等の発表

大学入学共通テストの平均点等については、中間発表を令和8年1月21日(水)（予定）に、最終発表を2月5日(木)（予定）に、いずれも[大学入試センターのウェブサイト](#)（→裏表紙）で発表します。

2 得点の調整

得点調整は、(2)の対象教科・科目について、(3)の実施条件を満たした場合、(4)の方法により実施します。

(1) 得点調整実施の有無の発表

得点調整の実施の有無は、令和8年1月23日(金)（予定）に発表します。得点調整を行う場合は、対象となる科目の得点の換算表を[大学入試センターのウェブサイト](#)（→裏表紙）で発表します。

(2) 得点調整の対象教科・科目

大学入学共通テストの本試験における、得点調整実施の対象教科・科目は、次の各科目間とします。ただし、受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象としません。

- ① 地理歴史の『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』の間
- ② 公民の『公共、倫理』『公共、政治・経済』の間
- ③ 理科の『物理』『化学』『生物』『地学』の間

(3) 得点調整の実施条件

得点調整の実施の対象となった各科目間で、次のいずれかが生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。

- ・20点以上の平均点差が生じた場合
- ・15点以上の平均点差が生じ、かつ、段階表示の区分点差（注）が20点以上生じた場合

（注）ここでいう区分点差とは、各科目の成績の段階表示（スタナイン）（→p.60）の各段階の境目となる、上から4%、11%、23%、40%、60%、77%、89%、96%の分位点（得点）の差を指します。

(4) 得点調整の方法

得点調整は、「分位点差縮小法」（注1）という方式を用いて、次のア、イを満たすように行います。

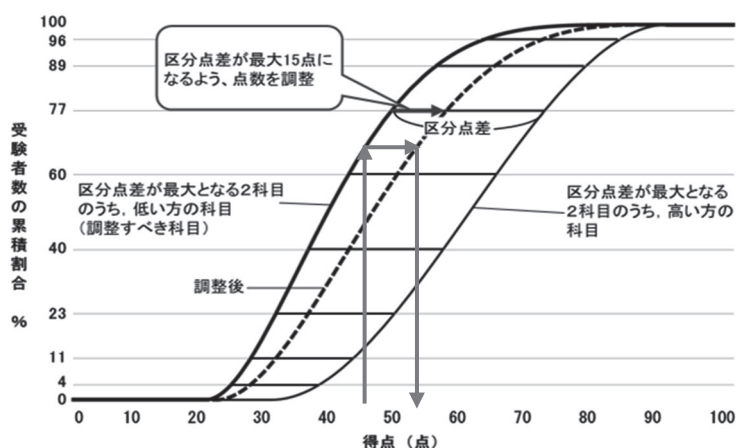
- ア 各科目の元の点数を下げないこと。（注2）
- イ 各科目間の平均点の順序を保つこと。（注3）

また、得点が加算される科目の受験者と加算されない科目の受験者間での公平性の観点から、区分点差の全てを調整するのではなく、調整後も区分点差の最も大きいところが15点となるようにします。

(注 1) 「分位点差縮小法」とは、分位点差を一定の比率で縮小する方式です。「分位点差」とは、得点調整の対象となる科目の受験者数の累積割合(%)が等しいところの分位点(得点)の差のことです。

なお、(3)で得点調整の実施条件として示されている「区分点差」は、「分位点差」のうち、各科目の成績の段階表示(スタナイン)(→p.60)の各段階の境目となる、上から 4%, 11%, 23%, 40%, 60%, 77%, 89%, 96% の分位点(得点)の差を指しています。

(注 2) 各科目の元の点数を下げないように、得点調整に当たっては、区分点差が最大となる 2 科目のうち、区分点が低い方の科目の累積分布を高い方の科目に寄せ、区分点が低い方の科目の得点を加算します(【図】参照)。また、区分点差が最大となる 2 科目以外の科目についても、区分点差が同一の比率で縮小されるよう調整します。



【図】分位点差縮小法

この方式により、区分点差が最大となる 2 科目のうち、区分点が低い方の科目の得点の累積分布は、図中の点線で描かれた分布に移動することとなります。この点線の分布が調整後の得点の累積分布となり、横軸上の素点から矢印に沿って進み、再び横軸上に戻った点が調整後の得点となります。

(注 3) 区分点差の最も大きいところが 15 点となるようにした際に、各科目間の平均点の順序が調整前から入れ替わる場合は、順序が入れ替わらない範囲で調整することとします。その結果、区分点差が 15 点以上に止まる場合もあります。

3 段階表示

(1) 段階表示について

段階表示は、各大学の入学者受入れ方針に応じた、受験者の多様な評価(方法)に活用できるよう、科目別得点に加えて、全体における各受験者の位置づけを示すものです。

なお、試験成績としては「科目別得点」における 1 から 9 の 9 段階として表示します。

(2) 換算表の発表

科目別得点等における段階表示の換算表については、令和 8 年 1 月 23 日(金)(予定)に、[大学入試センターのウェブサイト](#)(→裏表紙)で発表します。

(3) 段階表示の方法

- ① 「科目別得点」を、「スタナイン(Stanine)」(注)という方式を用いて、9 段階に換算します。
- ② 段階表示は、「科目別得点」に対して行います。
 - ※ 「地理歴史、公民」の『地理総合／歴史総合／公共』については、科目別得点(選択した出題範囲の合計点)の段階表示に加え、出題範囲別(「地理総合」「歴史総合」「公共」)に段階表示を行います。
 - ※ 「理科」の『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』については、科目別得点(選択した出題範囲の合計点)の段階表示に加え、出題範囲別(「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」)に段階表示を行います。
 - ※ 『英語』についてはリーディング、リスニング別に段階表示を行います。
- ③ 『国語』の出題分野別(「近代以降の文章」「古典(古文、漢文)」)の得点については、段階表示は行いません。
- ④ 「地理歴史、公民」で 2 科目を受験した者又は「理科」で 2 科目を受験した者については、第 1 解答科目、第 2 解答科目の合計点の段階表示は行いません。

(4) 各大学での活用方法について

各大学においては、入学者選抜を行うに当たって、段階表示を利用して入学者選抜を行うことがありますが、利用の有無や、利用される場合の具体的な方法については、各大学の募集要項等を確認してください。

(注) 「スタナイン (Stanine)」とは、分位点による区分法の一つであり、受験者を得点順におおよそ 4, 7, 12, 17, 20, 17, 12, 7, 4%の群に分割し、科目別得点を得点の低い方から順に 1 から 9 の 9 段階に換算する方式です。

4 試験成績の大学への提供内容

(1) 大学入試センターは、大学入学共通テストを利用する各大学からの請求に基づき、当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績（「科目別得点」及び「段階表示」）を、請求した各大学に対して提供します。各大学の教科・科目の指定については、大学入学共通テスト出願前までに、各大学の募集要項等で確認してください。

(2) 『国語』の特定分野を利用する大学へは、『国語』の得点及び段階表示とは別に出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の得点も提供します。

(3) 「地理歴史、公民」で 2 科目を受験した場合又は「理科」で 2 科目を受験した場合は、大学からの請求に基づき「第 1 解答科目、第 2 解答科目別の得点、その合計点及び第 1 解答科目、第 2 解答科目別の段階表示」又は「第 1 解答科目の得点及び段階表示」のいずれかを提供します。

なお、大学が 1 科目のみの得点を利用する場合には、**第 1 解答科目の得点及び段階表示を優先して利用**することがありますので、必ず、志望大学の募集要項等で確認してください。

(4) 『地理総合／歴史総合／公共』を受験した者については、科目別得点（選択した出題範囲の合計点）及びその段階表示に加え、出題範囲別（「地理総合」「歴史総合」「公共」）の得点及び段階表示を提供します。

(5) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を受験した者については、科目別得点（選択した出題範囲の合計点）及びその段階表示に加え、出題範囲別（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）の得点及び段階表示を提供します。

(6) 『英語』の成績については、リーディング、リスニング別の得点及び段階表示を提供します。

(7) 大学入学共通テストを利用する各大学の教科・科目の指定と、指定された教科・科目数を超えて受験した場合の大学への成績提供を例示すると、下表のとおりです。

入学志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績提供
「国語」「外国語」の 2 教科から 1 教科選択	当該大学の入学志願者が「国語」「外国語」を受験した場合、この 2 教科の得点及び段階表示
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』の 5 科目から 1 科目選択	当該大学の入学志願者が「理科」で 2 科目を受験した場合、第 1 解答科目として『物理』を、第 2 解答科目として『化学』を解答していれば、大学からの請求に基づき、これら 2 科目の得点、合計点及びこれら 2 科目の段階表示又は第 1 解答科目の『物理』の得点及び段階表示のいずれか



1 志望大学に確認すること

大学入学共通テストの志願者が志望大学に確認すべき主な事項は、次のとおりです。各志望大学の募集要項等で確認してください。

(1) 志望大学が大学入学共通テストで入学志願者に解答させる教科・科目

大学入学共通テストを利用する各大学は、大学入学共通テストの出題教科・科目の中から、入学志願者に解答させる教科・科目及びその利用方法を定めています。各志望大学の募集要項等をよく読んで確認の上、大学入学共通テストの出願をしてください。

(2) 志望大学へ出願する際の「成績請求情報」の提供手続の方式や提供区分等（→p.53）

(3) 志望大学を受験する際の「大学入学共通テスト受験票」の取扱い（→p.44）

(4) 障害等のある志願者の志望大学との事前相談（→p.20）

2 個人情報の取扱い

- (1) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「[独立行政法人大学入試センター保有個人情報の適切な管理のための措置に関する規則](#)」に基づいて適切に取り扱います。
- (2) 大学入試センターは、取得した氏名、住所、顔写真その他の個人情報を、大学入学共通テストの実施（出願処理、試験実施）及びこれに付随する業務を行うために使用します。
- (3) 大学入試センターは、「高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を卒業見込みの者」の出願資格で出願した者のうち、出願時に「在学する学校への出願情報の提供」に同意したものについて、大学入学共通テストの出願状況及び共通テスト出願サイトに登録された個人情報を在学する学校に直接提供します。
- (4) 大学入試センターは、大学入学共通テスト利用大学（以下、「各大学」という。）の大学入学共通テストを利用した選抜区分に志願者が出願した場合、当該志願者の大学入学共通テストの成績、受験状況及び共通テスト出願サイトに登録された個人情報を当該大学に直接提供します。

なお、共通テスト出願サイトに登録された個人情報については、志願者が Web 方式による成績請求情報の提供手続（志望大学の出願サイト上で申込番号等の入力）を完了した時点で、当該大学の出願サイトと共通テスト出願サイトが Web 上で連携され、大学入試センターから当該大学に直接提供します。
- (5) 大学入試センターは、各志願者の国公立大学への出願状況、合格状況及び入学手続状況を収集し、必要に応じ各国公立大学へ提供します。
- (6) 大学入試センター及び各大学は、収集した個人情報を、大学入学者選抜及び大学教育の改善のための調査・研究や学術研究の資料として利用することがあります。調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。
- (7) 大学入試センターは、上記の各種業務での利用に当たって、一部の業務を大学入試センターより当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。

この場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
- (8) 大学入試センターは、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、志願者本人の同意を得ることなく当該志願者の個人情報を他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。



(その他の出願資格の者→p.80)

H 高等学校
等一覽

[illegible]

[illegible]

[illegible]

H 高等学校 等一覽

[illegible]

[illegible][illegible][illegible]

雲北登倫昨業達任前西島	東 城 明	尾 市	七 七 能 野 羽 羽 宝 松 門 鹿 輪	の は ほ ま も ろ わ
(特別支援学校)				
援 支 援 支 援 支 援 支 援	別 特 別 特 別 特 別 特 別	特 特 特 特 特 特	王 錦 小 小 小 小 明 盲 ろ	い き こ な め も ろ う
私 立				
(高等学校)				
国際園沢附属谷校石川館	アットマーク学	ア 鵬 金 沢 金 小 星 日本航空高等学	あ お か こ せ に ほ ゆ	
(高等専門学校)				
こ 国 際 高 専	上記以外的高等学校等			
福 井 県				
国 立				
(特別支援学校)				
ふ 福井大学教育学部附属特別支援				
(高等専門学校)				
ふ 福 井 工 業 高 専				
公 立				
(高等学校)				
あ う お か こ さ た つ に ふ ま み わ	足 羽 大 奥 科 勝 金 高 坂 鯖 武 武 敦 敦 丹 福 福 藤 丸 美 三 道 若 若	越 学 生 賀 井 井	羽 水 野 成 衛 山 津 志 井 江 生 工 東 賀 業 生 業 林 島 岡 方 国 守 狭 東	
(特別支援学校)				
お 奥 越 特 別 支 援				

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

H 高等学校
等一覽

2 その他の出願資格

高等学校卒業程度認定試験	高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに合格見込みの者、又は令和 7 年度第 2 回高等学校卒業程度認定試験に出願している者
大学入学資格検定	大学入学資格検定に合格した者
高等学校卒業程度認定審査	いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者）であって、高等学校卒業程度認定審査に合格した者
外国の学校等	外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
文部科学大臣の指定した者	海技教育機構（旧海員学校）の本科を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者、GCEA レベル取得者、国際 A レベル資格取得者、欧州バカロレア資格取得者、国際的な評価団体の認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は修了見込みの者、その他文部科学大臣の指定した者（旧制諸学校出身者等）
認定	大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 8 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者（学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者）であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
在外教育施設	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
専修学校の高等課程	専修学校の高等課程を卒業（修了）した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込み（修了見込み）の者

■ 大学入学共通テスト に関するよくある質問

よくある質問について掲載していますので、問い合わせる前に確認してください。

「共通テストQ&A（よくある質問）」

<https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/faq.html>



■ 問合せ先

志願者問合せ専用電話（大学入試センター事業第1課）

TEL 03-3465-8600

9:30～17:00（土・日曜、祝日、12月29日～1月3日を除く）

※ 出願期間直前，出願期間中，試験期日直前は特に電話回線が混み合います。

電話での問合せが難しい障害等のある方専用 FAX

FAX 03-3485-1771

〒153-8501 東京都目黒区駒場2-19-23

独立行政法人 大学入試センター事業第1課

<https://www.dnc.ac.jp/>



大学入試センターのウェブサイトになかな情報を掲載した際は、以下の SNS でもお知らせします。

公式 X（旧 Twitter）



LINE 公式アカウント



非売品